

<p>末尾句</p>	<p>ゑけ やれ け ゑけ やれ ゑけ ゑけ よう ゑ やれ</p>
<p>反復句</p>	<p>ゑけ やれ け ゑけ やれ ゑけ ゑけ よう おゑたてゝ はりやせ ゑ やれ</p>
<p>所出オモロ</p>	<p>五五三 五六、八〇一 五三二 八九五</p>
<p>備考</p>	<p>「cf」け やれ け、 「ゑけ やれ け」 「cf」ゑけ やれ け、 「け やれ け」 二R一 「ゑ やれ」のみか。</p>

末尾句	反復句	所出オモロ	備考
<p>あ ゑけ やれ うらこやはひ けわいつ けわいつ ゑけ け わいつ ゑけ け やれ け こいや だに なくて はひやよ やちよ やれ け やれ このゑ やれ ゑけ ゑけ ゑけ こいの ゑけ はひ ゑけ はひよう こはひ</p>	<p>あ ゑけ やれ うらこやはひ けわいつ けわいつ ゑけ け わいつ ゑけ け やれ け こがねしに こいや だに 又 だに をかう なくて はひやよ はひやよ 嶋内 あおりやい やちよ ゑのちおにのとの やちよ やれ け やれ このゑ やれ ゑけ ゑけ ゑけ こいの ゑけ はひ ゑけ はひよう こはひ</p>	<p>四八九 九九四 六二七Ⅱ(二四八八) 一四八八Ⅱ(六二七) 五二四 二二・九Ⅱ(二四九) 一七九 四二二 七二九 六八五 一〇四四 六五一Ⅱ(一四四五) 六三七Ⅱ(一四九七) 九六五 五三六、五三四、 七〇四、一一七九、 七三一 七三〇 一〇三六</p>	<p>「なくて」の語義未詳 一四八八は「けわいつ ゑけ」 六二七は「けわいつ」 cf 「ゑけ やれ け」、 「ゑけ やれ ゑけ」 cf 「あおうはひ やうか うはひ」 五三一は二R一。七〇 四は二R一・二</p>

〔感動詞他の部〕

末尾句	反復句	所出オモロ	備考
<p>わし ゑけり ゑそこ ゑらび</p>	<p>この いけらわしや みやがの とり みやがの わし もしま ひきよせる わし かなしやの ゑけり あまへこが まぶりよわる ゑそこ ↓もゑらび</p>	<p>一一六六 二六九 一三四〇 九九三 九三七、九四〇</p>	<p>九三七は「はこぎ はりそゑ て あまへこが—」か。 九四〇は「いちのたし まぢ よく あまへこが—」か。</p>

末尾句	反復句	所出オモロ	備考
<p>あおうはひ やう かうはひ あゑい ゑおい</p>	<p>あおうはひ やうかうはひ ゑおい ちよろめへ ゑい やうら やうら やうらへ ゑおい やうら やうら やうらあ ゑおい やうら やうら やうら ゑおい やうら やうら やうらあ ゑい ゑおい</p>	<p>一一六九 七二八</p>	<p>cf「ゑけ はひよう こはひ」 第一節の形で示した。 第二、三節の形は少しず つ異なるが省略。</p>

末尾句	反復句	所出オモロ	備考
<p>やちよく(こ)た よせもり(い)がなし よむいきのかず よらふさ よりたち よるい</p> <p>〈ワ行〉 わう わかい(ゑ)きよ(き よう)</p> <p>わかてだ わかまつ</p>	<p>あすべく／＼ やちよくた やふら おせ やちよくた やゝと おせ やちよこた</p> <p>みやりほしや ひやくなの よせもり(い)がなし おかう おがで よむいきのかず やせのはなさきに よれば すでゝ よむいきのかず さはねよらふさよ やつまたが よりたち かみ下 み物する よりたち あたらの いとおうのよるい</p> <p>あがたゝみがなししよ あんじかすの わう みやげほしやの わかいきよ よそおせぢ せぢまさる わかゑきよう あんじ(あぢ)おそいてだと わかてだ よだ さちへ うら おそう わかまつ</p>	<p>一一三九 五五五 五五一</p> <p>一一三九 一一二五九 三九七 一一九九 一一〇八 一一六〇 一〇一〇</p> <p>三七一 四九一 八〇〇 六四〇 一一四五〇 六五</p>	<p>cf「あすべく／＼ やちよく」 校本「やちよくけ」</p> <p>「よれば すでてー」のみか</p>

末尾句	反復句	所出オモロ	備考
<p>もりぐすく もる</p> <p>〈ヤ行〉 やちよく(こ)</p>	<p>きよらや もりぐすく ふうくによる もりぐすく もふうら おそう せぢたかもる</p> <p>あおりやへや はりつな やちよこ ↓急 あおりやへ や はりつな やちよこ あすべく やちよこ あよはり急や やちよこ あれく あまへれ やちよこ いぐまちへ はやせ やちよこ 〔うき〕きよら はりやせ 急 おこれや やちよこ うちあがて はやせ やちよこ おせや やちよこ こげ つな やちよこ こげ つな やちよこ 急やれ おそい やちよこ 急 あおりやへや はりつな やちよこ</p>	<p>七七八 一三〇七 七二一</p> <p>一〇三四 八七二 二九八 六五六 七九三 七〇二 一一九一 四八八 五二三 八〇六</p>	<p>cf「あすべく やちよ くた」 cf「こげ つな やちよ こ」 岩波本「や強く」とする はcf「急 あおりやへや はりつな やちよこ」</p>

末尾句	反復句	所出オモロ	備考
<p>みもん もの もゝゑらび もり</p>	<p>たまはしり たまやりと みもん ちよらのはなの うら／＼と とよで みもん ちよ(う)らのはなの さいわたる みもん はまちどり おゑたて おへ／＼と おゑたて わがう らの うらはりぎや みもん ほしのかた もちろちへ けおのうちのよりなおり みもん ま人の けわ「い」ぢよ みもん わかきよらが けわいあすび みもん ゑ けわいど みもん ゑのち大ぬしぎや みもん ↓みもの あやくせ めづらみやぶ</p> <p>↓よかるもの(「形容詞の部」) かほうもゝゑらび げらへふさよわる もり なさいきよが よそいる もり もゝすへ(ゑ) とよむ きこへ(ゑ)る もり</p>	<p>七五五〥一五四七 二〇〥(二三八) 一三八〥(二二〇)、 一五七、八三四 九七三 六八二 五二〇 一二八四 七〇三 八二六 四九四 五三六 七七四 一六七 五七七〥一四五四</p>	<p>「わがうらの」のみか 一三八は「ちよらのはなの さいわたる みもん」 二〇は「ちよらのはなの う ら／＼と とよで みもん」</p>

末尾句	反復句	所出オモロ	備考
みもん	<p>あやより くせよりが みもん うらはりぎや みもん おにわしの はねうちする みもん おもいぐわのあすび なよればの みもん おもいぐわのあすび み物あすび なよればの みもん おれが みもん おれ みもん きこへくにせりきうと やゝのやくせ ほてらちへ て りおそいが みもん げに み物 おわちゑる よりかさが けおのより みもん げらへ(ゑ) みもん げらへみやうぶ とよめば みもん けわいど みもん ↓ゑ けわいど みもん さいのはなの まやいど みもん しまよせがぶれまへど みもん せだかあぢ(あんじ)おそいや きみよせ きらくせ みもん 玉のとり こがねとり あすばちへ くもこみしやの はしらへしゆ みもん</p>	<p>一三四一 七八六 一二九一 一五五四(六六三) 六六三(二五五四) 四八二 六五〇 八二八 一〇六四 五七六(一四八九) 四七九 六二〇(一四三六) 九六二 二二五(六七五) 六八八</p>	<p>反復部なしか。 一節のみのオモロ 一五五四は「おもいぐわのあすびなよればの みもん」</p>

末尾句	反復句	所出オモロ	備考
<p>みおどん みこい(急) みこし</p>	<p>もゝと ちよわれ みおどん あぢおそいが しま まるく みこい おとゝきみやれども おれるかず きみ はやす みこい(急) あんじおそいぎや さしなしの みこし かねのてだみこし さしよわやり 世そわる みこし みほしみこし こがねのまだまの みしやく すで物 ま物 まだまの とりやがる みしやく かみしもの そかなする み物 しまつれ くにつれ み物 みちやづれが みもの(物) ↓みもん</p>	<p>一三三八 三八一 五九八 一四五二 一〇二一 四六七 四〇八 一〇六三 一二九〇 一一三〇 六四八 一二三三 二五三</p>	<p>「おれるかず―」のみか 「なみとどろ―」のみか。 あるいは「ひやくな の―」のみか cf 「あまへて けわいこ ぎ しまわちへ」</p>
<p>みもん</p>	<p>あけずみそ めしよわちへ かぎなおり さしよわちへ なみとどろ うみとどろ おしうけて ひやくなの うらはりが みもん あけまもどろ みれば へにのとりのみゆへ みもん あまへて けわいこぎ みもん あやけわい みもん</p>	<p>八四七 八二五 八六五 七八八</p>	

末尾句	反復句	所出オモロ	備考
<p>ひやし</p> <p>みあおり</p> <p>みうち</p> <p>みおうね</p> <p>みおどん</p>	<p>みやがのひやし うちあがる ひやし</p> <p>みやがのひやし うちやがの ひやし</p> <p>これど だにの きやの まかね</p> <p>いりて みづ こゑば みづ なきやん まみき いぢ</p> <p>やす まくに</p> <p>しらたる げに またたるよ</p> <p>せど しやり おわもりが まへかち</p> <p>これど だに 嶋うちみあおり</p> <p>まだま こがね よりやう たまの みうち</p> <p>あと なおちへ さきよかる みおうね</p> <p>↓はやみおうね</p> <p>いりちへ みちゑ きよらやの みおどん</p> <p>おりほし かなしけ きよらやの みおどん</p> <p>もゝうら おそう 世そう みおどん</p>	<p>六五三〇(一一七)</p> <p>一一七〇(六五三)</p> <p>七八三</p> <p>一〇四三</p> <p>五二六</p> <p>八四九</p> <p>六五七</p> <p>一一三三</p> <p>八九一</p> <p>二二三</p> <p>四二五</p> <p>四五〇</p>	<p>一一七は「うちやがの」</p> <p>六五三は「うちあがる」</p> <p>反復部なしか。または「みづ なきやん」のみか</p> <p>cf「おりほしやよしがほうかなしおどん」世</p>

末尾句	反復句	所出オモロ	備考
<p>なりがなし にせがなし にせぎ のりがなし</p> <p>〈八行〉</p> <p>はなぐすく はやつかい はやみおうね ひやし</p>	<p>みやがよせなりがなし おもひにせがなし 世(よ)がけにせぎ しまうちのりがなし</p> <p>あやわし よせる はなぐすく あん まぶて くれわれ あんじおそいぎや ぢやくに はやつかい ↓つかい きやよせはぎあがりや なみ おそう はやみおうね ↓みおうね</p> <p>うちあがる ひやし けれど おやおもひひやし ふなやれひやし</p>	<p>四一六 九八四 四八七 一四〇〇 四三五</p> <p>一三三 一三八六 八九四</p> <p>四九九</p> <p>五九九 一四一七 一二一〇 五四七 一四四七</p>	

末尾句	反復句	所出オモロ	備考
<p>とよみ</p> <p>とよみ</p> <p>とり</p> <p>〈ナ行〉</p> <p>中ぐすく</p> <p>なさいきよ</p> <p>なほどまり</p>	<p>さはねよらふさよ なかちげらへの とよみ</p> <p>すへとごち たちよ〔わ〕る とよみ</p> <p>せくたち たちよわる とよみ</p> <p>とくみつは げらへて とくみつは 御くらの とよみ</p> <p>↓とよみ(動詞の部)</p> <p>とりぎや とう とり</p> <p>けさや つのひらせ いみやは せめて うたん なかくすく</p> <p>だくに おそう 中ぐすく</p> <p>あぢのつぢなさいきよ</p> <p>もゝとひやし うちあがる なさいきよ</p> <p>もりあい た〔ゝ〕みきよ きもちやさ おしなせ なさいきよ</p> <p>世(よ)がほ(ふ)うなさいきよ</p> <p>たう なばん よりやう なほどまり</p>	<p>一一二二</p> <p>二二四四(二二七四)</p> <p>二二七四(二二四四)</p> <p>一一八六</p> <p>五五〇</p> <p>四五</p> <p>四二</p> <p>一九二</p> <p>六三一〇七二〇〇〃</p> <p>一四九二二五〇〃</p> <p>七一六二二〇三〃</p> <p>五〇四</p> <p>六三二〇七二〇〃</p> <p>一四七〇二四九二</p> <p>七五三</p>	<p>一二七四は「せくたち たちよわる」</p> <p>一二四四は「すへとごち たちよ〔わ〕る」</p> <p>七一六は「うち〔あ〕がる」</p>

末尾句	反復句	所出オモロ	備考
<p>てだ</p> <p>とくまさり</p> <p>とまり</p> <p>とよみ</p>	<p>天よりした(下)の わうにせてだ</p> <p>ながりきこゑてだ</p> <p>にがよう あまよ なす てだ</p> <p>にら人は これど きむあぐみてだ</p> <p>ま人の けわいど ほしみよわる てだ</p> <p>まもんひろみやに めづらしや さらん てだ</p> <p>みかなしてだ</p> <p>みれどもあかん てだ</p> <p>もゝあぢの みあぐも てだ</p> <p>もゝうら とよみてだ</p> <p>もゝぢやらのぶれおもい(ひ)てだ</p> <p>やちや みつめてだ</p> <p>ゑいとてだ</p> <p>ふたまたの中べ あやの てに</p> <p>たまめづらせ この とくまさり</p> <p>かほう よせつける とまり</p> <p>きこゑあまわりや ぢやくにの とよみ</p>	<p>二三〇、一一九五</p> <p>一二九六</p> <p>一三三〇、一三九三</p> <p>一二八一</p> <p>四〇六</p> <p>一〇四五</p> <p>一三五七</p> <p>一一七八</p> <p>二七七</p> <p>一一四〇</p> <p>四三八、一三三七</p> <p>一三五二</p> <p>四七二</p> <p>八八二</p> <p>七五八</p> <p>五三八</p> <p>一一四一</p>	

末尾句	反復句	所出オモロ	備考
<p>つかい</p> <p>つづみ</p> <p>ておりとみ</p> <p>てだ</p>	<p>やうら おちへ わかきよ つかい</p> <p>わかきみ げらへて つかい</p> <p>ゑのちかみどのに つかい</p> <p>↓はやつかい</p> <p>うけみつなりおそいつ「づ」み</p> <p>あまへ きよら ておりとみ</p> <p>大ざと(里)のおもいいぢへ(おもひいぢへの)てだ</p> <p>おみかうの めづらしやてだ</p> <p>かほうてだ</p> <p>かほうてだ めづらしや やまぐすくてだ</p> <p>かみしもの 人ひぢめてだ</p> <p>げすの うれしかなしてだ</p> <p>けれど あんじの きみしてだ</p> <p>すかての おもいぢゑの てだ</p> <p>てだきよら まさる てだ</p> <p>てだきよら まぶる てだ</p> <p>てによりしたの げす ゑらぶ てだ</p>	<p>七八九</p> <p>五九四 一四六一</p> <p>七六</p> <p>七八二</p> <p>八一八</p> <p>四三七 一三七二</p> <p>一二一三</p> <p>四〇一</p> <p>四六三</p> <p>四六〇</p> <p>四一二</p> <p>二五〇</p> <p>二六七</p> <p>一二五〇 一二三〇</p> <p>一二三〇 一二五〇</p> <p>四一七</p>	<p>「一二二〇は」――まぶるてだ</p> <p>「一二五〇は」――まさるてだ</p>

末尾句	反復句	所出オモロ	備考
<p>つかい(ひ)</p>	<p>おやひやし あまへて つかい かみく つかい きみ つかい きみのつんじ つかい けよ(お) しよ(ゆ)る つかい もよとの つかい 国 こおり うらのかず とよまちへ つかい さしふ いせゑけり てるかはに ぢやくに ゑらで つかひ しつらかね まくもに なか人に やた物 やこへ せ ば とこへ せば とく つかい せだかこが つかい(ひ) たしや たしや きよや きよや よよせによががちへ つかい たりるこの みるやに つかい てだきよら つかい てるかはに ぢやくに ゑらで つかひ ともよその あすび とよまちへ きみく つかい もよら おそう たまのきみ つかい やうら おちへ つかい</p>	<p>一一二四 一〇二八 六四七 一六二 六三、四七一 一〇五九 七六六 八三三 六一〇 一四八六 一〇八七 五六五 一四八四 一〇七五、一一二六 七六六 六五九 七五一 五五四、八六八</p>	<p>「さしふ いせゑけり てるかはに」か</p>

末尾句	反復句	所出オモロ	備考
<p>たゞみ 玉みしやこ ぢやうのしゆ ちやらつゞ つかい</p>	<p>ゑしま おやせ 国 おやせ たゞみ たまみねぶ わたしよわ おぎやかもいがつほに 玉みしやこ さやはしもはしり おしみちへれ ぢやうのしゆ ちやらつゞ あおりやゑ つかい あがるいのこばもり こばのはなの さきよれば うら くくと わかきみ つかい あけもどろ やもどろ とも わきやげ おきなわに つかい あぢのつぢあんじ(あぢ)おそい つくしちやら 玉(た ま)のきみ つかい あんじがなし しよしかち つかい いきやる すぢや おてが 大きみ なお しやり つかい うみ とらちへ かぜ なおちへ つかい うらくくと わかきみ つかい うらこしちへ せのきみ つかい おいちへ こうて てるきしやき つかい</p>	<p>一一一五 七五九 三四九 一〇三三〇 一六一 八四五 九七五 六七四〇 八七一 五〇六 八一九〇 一三二八〇 八九九 七八四</p>	<p>三R二。↓すでもの 「一七〇は」ちやらつ 「う」 「うらくと わかきみ つかい」のみか 「なおうこので おわち へか おいちへ」か</p>

末尾句	反復句	所出オモロ	備考
<p>すでもの せだかこ へ夕行 たいらし たゝみ</p>	<p>ますだり ○○○○すでもの よく げらへて まさりゆ(よ)わる せだかこ みや あがりよわれ せだかこ ゑのし たいらしさらめ うちあ(や)がる たゝみ おしかさが まぶりよわる たゝみ きこへくにせりきよ いろ まさり まてもちたゝみ きみぎや まぶりよわる た〔た〕み くにく おそう 大そいたゝみ せ(せい)だかさ とよみよわる たゝみ てだが おもいよわる まてもちたゝみ もゝぢやら なおす せぢ もつ たゝみ 世がほう よせわる たゝみ よそうせぢ もつ たゝみ</p>	<p>七八一 五八二〥一五〇七 一三六八 六二六〥一四八七 七一八 九七九 二〇〇 六六一 五八〇〥一五〇五 三八三 二五九 六八 一五二三</p>	

末尾句	反復句	所出オモロ	備考
<p>〈サ行〉 さうず さかな しまうち しよりおやぐに</p>	<p>もゝぢやらの うらやも さうず おもろど そない せるむど さかな なさいきよが あぢ おそう しまうち かほうは しよりおやぐに かまゑ つむ しよりおやぐに きやのうちみや てもちかね すだちへ これど だに の しよりおやぐに つれる つれ(つれて) かほうお しよりおやぐに とたけ まさりよわちへ みれども あかぬ(ん) 首里 (しより)おや国(ぐに) めづらしや あかん しよりおやぐに ゑ み物よせずづなり さやはしもはしり おしあけれよ ぢやうのしゆ(よ) たますだり(れ) まきあげれよ すでもの さやはしもはしり おしみちへれ ぢやうのしゆ 「た</p>	<p>七〇 四三二 三二六 三八二 一〇五二 三五四 一三三二 二二六一 七二二 二二五 三九〇 一八七 三四九 一五四四 三四九</p>	<p>「これど だにの しより おやぐに」のみか 一三五は「まさ」り「よわちへ」 三R一。なお、「」内の詞句は、原本は記載省略</p>

末尾句	反復句	所出オモロ	備考
<p>ぐすく</p> <p>くにてもち</p> <p>くに(国)とよみ</p> <p>ころく</p> <p>ころたべ</p>	<p>けさよりや まさり 世たまのとどまりぐすく</p> <p>しよりしゆ もうら ひく ぐすく</p> <p>たうのふね こらよる ぐすく</p> <p>たまこがね もちみちへる ぐすく</p> <p>つくしちやら おぼい(急)て たま(玉)がはら ふうく によせぐすく</p> <p>てだが ふさよわる ぐすく</p> <p>まだまこがね もちみちろ ぐすく</p> <p>↓いしぐすく、かみぐすく、もりぐすく</p> <p>きよらやの くにてもち</p> <p>せこい きぎぼしや くとよみ</p> <p>つぐみ おわもりや くとよみ</p> <p>つぐみのあぢ(あんじ) 国とよみ</p> <p>まぢよくあれ ころく</p> <p>大主がまへに あかぎ ゆすぎのはなの ましろ まか</p> <p>ら さきよれば おれよ とて おりさちへ あけの</p> <p>つよに おされて なみぎやよりぎや はるよれば</p> <p>おれみになる ころたべ</p>	<p>六九三</p> <p>四三六</p> <p>一三一〇</p> <p>二一七</p> <p>一三三七 二二六七</p> <p>六二</p> <p>一五六</p> <p>四七七</p> <p>五九一 二四七八</p> <p>一三二四 一三八七</p> <p>一三二五 一三八八</p> <p>八九六</p> <p>八二二</p>	<p>「世たまのとどまりぐすく」のみか</p> <p>cf 「つくしちやら おぼ て げらへて」とも、 とちよわれ」</p> <p>「あけのつよに——」のみか</p>

末尾句	反復句	所出オモロ	備考
<p>きみ きよらきみ みものきみ ぐすく</p>	<p>せのきみと きみと ちうらのはなの さきよれば あれ みれよ きよらきみ うちちへ みもの(ん)きみ あまへぶれまへば もうらう よてこら かほうよせぐ すく あまみきよが たくだる ぐすく あまみきよが のだてはぢめの ぐすく あんじおそいが くむこよせぐすく あんじおそいぎや おもひあげの 城(ぐすく) いみ(や)ど 世わ まさる 世たまの とどまる ぐすく 大みきの みちあがる ぐすく おしやへしちへ もちみちへる ぐすく かつれんす くにてもちぐすく かみおれはぢめの ぐすく かみしもの世 そろゑる ぐすく かみてだの まぶりゆわる ぐすく きみぎや金物の ぐすく</p>	<p>一二八五 九七七 六七七―一〇四 三五五 七四、一〇六六 一三二一 一一八四 一〇二〇、一〇三三 六一五 一一九八 四〇五 一一六四 一三二二 二一八 一三三二 一〇五〇</p>	<p>「あやてうちちへなよればせのきみと きみと」か 七四は「ゑのちともおそいや あまみきよが―」か</p>

末尾句	反復句	所出オモロ	備考
<p>おまかない 御まへ おや国</p> <p>〈力行〉 かいとり かない かなしけさ かみく かみぐすく かみた かみ きゝがなし</p>	<p>世のつほに みしやく おまかない あやの天 とらちへ やゝのやくせ ほてらちへ あん じおそいが 御まへかち よりたちぢよ くにのね みき かばし おや国</p> <p>かいとり ゑけ やれ かいとり おぎもせぢ やりよは おきなわ たうりやり かない ↓かなしけさ(「形容詞の部」) おれなおせ かみく で わん あすば かみく こばもり かなもり みあぐむ かみぐすく やゝと おせや かみた あさいによ ひろみやに おれなおせ かみた かみ みやがよせきゝがなし</p>	<p>一一一八 九八〇 一〇四八 五四二 五二八 三〇〇 五四〇 一〇〇五 八四四 六九七 四八三 四三四</p>	<p>「やゝのやくせ——」のみか</p>

末尾句	反復句	所出オモロ	備考
<p>おうね</p> <p>おとよみ</p> <p>おきて</p> <p>御くら</p> <p>御ため</p> <p>おどの</p> <p>おどん</p> <p>おにのとの</p>	<p>あぢく ゑらぶ おうね かみてだの まぶりよわる おうね</p> <p>うけたから とよで うけるかず ぢやくにとみ おうね</p> <p>うけたらな とよで うけた事 ぢやくに とよみおうね</p> <p>御まへ おわる あすたべ にしのうみの なみのくわ</p> <p>かみてだの まぶりよわる おうね</p> <p>きみてづり まはない ふう よせる よりきよらおうね</p> <p>くにぢやかよ(くにたか) わかきよ(う)が たま世(よ)</p> <p>せおうね</p> <p>かみ下の 大とよみ</p> <p>ぢやくに ゑらぶ ぢやなの おきて</p> <p>かみしもの みもんする 御くら</p> <p>ともよせや しまうち御くら</p> <p>げらへやり おもひぐわの 御ため</p> <p>きよらや かみ下のよそいおどの</p> <p>おりほしやよ し 世がほうかなしおどん</p> <p>世(よ)せあかずおどん</p> <p>↓みおどん</p> <p>↓やちよ(感動詞他の部)</p>	<p>八〇四</p> <p>七六五</p> <p>一一七三</p> <p>八八七</p> <p>七〇九</p> <p>五四九 八一〇</p> <p>三三一</p> <p>一〇九八</p> <p>一〇〇二</p> <p>四八一</p> <p>八五九</p> <p>一三〇六</p> <p>三三七</p> <p>五七九 一五〇四</p>	<p>「かみてだの―」のみか</p> <p>cf「おりほし かなしけ きよらやのみおどん」</p>

末尾句	反復句	所出オモロ	備考
<p>あぢ(あんじ)おそい いしぐすく いぢへみ いやころ うちやり うもいきのかず</p>	<p>あぢおそい きこゑなよくら あが まぶる あぢおそい しまうちせのたかや くにうちせぢ あぢおそい しま そわて とよみよわる あんじおそい 天が下 せぢまさる あぢおそい もゝあんじ(あぢ)やらばやちよむ(も) ゑ やれ とよむ あぢおそい もゝすへとよむ あんじおそい よそわる あやご もゝしま まぢうん いしぐすく しけちなは まさうず しま世(よ)のかほうさうずいぢへみ あんじおそいぎや しまうちする いやころ たくだるげすの うちやりさらめ やぐめさよ うもいきのかず</p>	<p>一一二二 三二二 六八一 八三五 五六六〇 四三三〇 一四八五 六八〇 一八三 八五 四九八〇 一五九 一一九三 三二四 一一七五</p>	<p>「あが まぶる」のみか cf「いくせせぢたかは まうちとよむ あぢおそい」 「ゑ」なし。 「あぢおそい」 「ばやちよむ やれ」と 「ゑ」なし。 一四八五は「もゝあぢやら ばやちよむ やれ」と 尚本・ア本「—まちら ん—」 四九八は「しけち」は「</p>

〔名詞の部〕

末尾句	反復句	所出オモロ	備考
<p>〈ヤ行〉 やぐめ よかる よかるおらに よかるもの</p>	<p>くせきよらが けおのうち あらさき(あらさきの) や ぐめ あぢがほうど げすは よかる よかるおらに のりや よかるもの</p>	<p>一三二七〇一五三八 四三一 一一七四 一一九三</p>	<p>「よかるおらに」語義未詳</p>

末尾句	反復句	所出オモロ	備考
<p>〈ア行〉 あいつま あおりやい あすび あぢ あぢ(あんじ)おそい</p>	<p>あまつどは あいつまに ↓やちよ(「感動詞他の部」) きよらや みもんあすび しまよせるつどみのあるあぢ いくさせぢたかは しまうちとよむ あぢおそい かみてだの まぶりよわる あんじ(あぢ)おそい きゝ みやくむ せぢ やてよこ ころ そろいわる</p>	<p>一三三四 七〇一 一一九五〇一五三二 一一一三 二〇一一二〇 八二一</p>	<p>「あいつま」語義未詳 cf 「しまうちせのたかや くにうちせぢ あぢお そい」 「やてよこ ころ」の みか</p>

末尾句	反復句	所出オモロ	備考
<p>とくらし</p> <p>〈ハ行〉</p> <p>ーぼ(ぶ)しや</p> <p>〈マ行〉</p> <p>めづらしや</p> <p>めづらしやある</p> <p>めづらしやよ</p>	<p>わかまつが とくらし</p> <p>↓へらいぼしや ほこりぼしや みぼ(ぶ)しや、みやげ ぼしや、みやりぼしや(動詞の部)</p> <p>あやみやの めづらしや けおの めづらしや しよりの めづらしや なさが めづらしや くにまさりおやのろ 急げ よしまからど めづらしや ある くめの めづらしやよ</p>	<p>一二〇七</p> <p>五五九 四二 一四九九 二二七 五三三、九五六 一四〇九 九五九 九五五</p>	<p>九五六は二R―二</p>

末尾句	反復句	所出オモロ	備考
<p>きよらや</p> <p>きよらやよ</p> <p>ごとく</p> <p>こましや</p> <p>こまらや</p> <p>たかさ</p> <p>〈夕行〉</p>	<p>なむぢや こがね よらちへ はりよる きよらや</p> <p>のちまさり ちよわよる きよらや</p> <p>はねうちしちへ はりよる きよらや</p> <p>ぶれたかの まやうやに きよらや</p> <p>ふゑのとりのかこへ(急)の うらノと きよらや</p> <p>まみや あすばす きよらや</p> <p>もちろちへ こが きよる きよらや</p> <p>もちろちへ こが しよる きよらや</p> <p>あけもどろのはなの さいわたり あれよ みれよ きよらやよ</p> <p>↓のちやるごとく</p> <p>やぐめさ ふなこし こましや</p> <p>やぐめさよ ふなこし こまらや</p> <p>くもがいきつきに とよみゆわる たかさ</p>	<p>八三九</p> <p>四七六</p> <p>九二四</p> <p>七五四</p> <p>八二〇 一五四三</p> <p>七〇〇</p> <p>八四 五〇三</p> <p>五〇三 八四</p> <p>三七九 八五一</p> <p>一一〇七</p>	<p>五〇三は「こが しよる」</p> <p>八四は「こが きよる」</p> <p>「あれよ みれよ きよらやよ」のみか</p> <p>「わかいきよ やぐめさ」か「二七八は「こまらや」</p> <p>一二四八は「こましや」</p>

末尾句	反復句	所出オモロ	備考
<p>きよらや</p>	<p>ぐすくおどの げらへて かみしむの み物する きよ らや くによせ げらへる きよらや くもかぜの たちなおる きよらや げらへよる きよらや こがねげが下 きみのあぢの しのぐりよわる きよらや こがねの もしろきよる きよらや こぢへきよる きよらや しないとみ はぎうけたる きよらや しろ(ら)ちやねの よりなびく きよらや たまよ そろいわちへ もちづき あすばす きよらや 月のかず なつのやに あまへる きよらや て うちちゑ よりぎや きよらや てるかはが てりよるやに きよらや とはしり やはしり おしあけわちへ みもん きよらや ともゝすゑぎやめも かみしもの みもんする きよらや なむぢや こがね もちよる きよらや なむぢや こがね もちろきゆる きよらや</p>	<p>二四四 一三四六 七九九 一〇五一 七五 一〇一七 五四五 九一〇 一一〇三、一一六七 五〇 六四三 一一〇九 一五四 八三〇＝一五四二 二八四 一一四〇＝一二七〇 一二七〇＝一二四〇 一二七〇＝一二四〇</p>	<p>一節のみのおもろ 「みもん きよらや」のみか 「一二七〇は」——もちろき ゆる—— 「一二四〇は」——もちよ る——</p>

末尾句	反復句	所出オモロ	備考
<p>かなしや かなしやある きもちやさ きよらや</p>	<p>おみぎやみよ おがめば かなしや よせもい ひぢやりも にぎりも かなしや ゑためとも かなしや みしま ようしまからど かなしやある おもひはの きもちやさ たゞひとり やたもの おもいはの きもちやさ あがるもちづき きみの きよらや あすぶ きよらや あまへほこよる きよらや あゆまちへが みもん きよらや いしらご けずたる きよらや うきはたの なおれよる きよらや おかう したたりやが きよらや おりあげたる きよらや かなかぶと げらへて かなふくに もちりよかす きよらや かみくく あまへる きよらや かみしもの みものする きよらや</p>	<p>三七四 四六八 三四一 七八五 九八七 九九七 一三四四 三三九〇六七八 五三九 七九〇 一三四八 七九七 一三三七 一二〇四 七六七 三〇六 五九</p>	<p>一節のみのオモロ 「おもいはの きもちやさ」のみか</p>

末尾句	反復句	所出オモロ	備考
よせるまじ	ともゝすへ せいいくさ よせるまじ のちがすゑ せくさ よせるまじ あぢかすが てもち 中ぐすく よせれ うみ とらちへ わがうら よせれ かみ／＼す うらのかず いのりやゑて よせれ つくせ よせれ よしま よせれ よへのしたたりや よせれ うらのかず おそう世わ 世のてもち まへに よせわ おもひてるひ よらちへ しよりもり こがね よりみちへて いなよね よりみちへれ 世う よりみちへれ てだは かに あればど おはたは よりゆる みれつなおきて かに あればど おはたわ よりゆる わかつかさ てるひおのかなが つくせど よりよる ころす な たまわ よりよれ みるめの かなしやす ま人は よりよれ	七六三 七五七 五四 八七三 三三三 五八八〓一四七五 九五四 九八五 三〇三 一一八三 二一九 一四七四〓（五八七） 一三二四 四七〇 四四三 八一 一三五五 一一三六	「くもかせす よりそへ のちがすゑ——」か cf「きやのうちみやに こ がね ふりみちへて」 五八七は「—ゆりみちへ れ」
よせれ			
よせわ			
よらちへ			
よりみちへて			
よりみちへれ			
よりゆる			
よりよる			
よりよれ			

末尾句	反復句	所出オモロ	備考
<p>やりよわれ やれ</p>	<p>大きみす けい やりよわれ これど だにの まてだやれ しつらいす ことなおしかみやれ</p>	<p>三六 三二四〇一五二五 一一四八</p>	<p>六R一</p>
<p>ゆそい ゆどしよわ</p>	<p>だりじよ ゆそい こばもりむ よむいきやす こしやてもいが よしみよ わば ゆどしよわ</p>	<p>五二五 一〇六五</p>	
<p>ゆらせ ゆりみちへれ</p>	<p>ぶれまて まちよ ふさ ゆらせ いなよね ゆりみちへれ</p>	<p>八五五 五八七〇(二四七四)</p>	<p>「一四七四は」——よりみちへれ」</p>
<p>よがける</p>	<p>あまみや世の うぶ玉 うぶだまは いのるすど よがける</p>	<p>一〇二</p>	<p>「うぶだまは いのるすど——」のみか</p>
<p>よしらめ</p>	<p>大きみす よしらめ</p>	<p>三六</p>	<p>六R一五</p>
<p>よしれ</p>	<p>せだかこす よしらめ あんじおそいしよ よしれ きみくしよ よしれ</p>	<p>三六 九三 九一〇一四九</p>	<p>六R一六</p>
<p>よせらや</p>	<p>てるかはす よしれ やぐめさ やまといくさ よせらや</p>	<p>九八 一三六四</p>	

末尾句	反復句	所出オモロ	備考
<p>もどせ もどれ もりよる</p> <p>へや行 やすで やすま やびきよわちへ やらに やりあぐで やりよわ やりよわめ</p>	<p>と かねと あわちへす もどせ このいくさせぢ やて もどせ ぢやくに しらたる うちちへす もどれ あまへて しけちぢよ もりよる みやぎぜんは 御さけど もりよる</p> <p>をふれ おぎも やすで こへ やて おぎも やすま しよりもり ちよわる あがたゝみがなししゆ まだに やびきよわちへ いみやこより めづらこ(こ)ゑ やらに おれ みれ さうぜ やりあぐで 大きみぎや け やりよわ せい やりよわ ↓ゑけ せい やりよわ ゑけ せい やりよわ せだかこす けい やりよわめ</p>	<p>六六 五一九 一〇九二 一二一六</p> <p>二七五 一八四〇二〇一 三五〇 八五八、九五八 三〇九 一二〇一三〇 一八〇 三六</p>	<p>反復部なしか</p> <p>六R一ニ</p>

末尾句	反復句	所出オモロ	備考
<p>むかい めづらがて めより</p>	<p>なみかぜ なごやけて さやはたけ きみくしよ むかい おもやけ めづらがて せぎよ めづらがて しないとみ まちらたな めより まぢらた めより</p>	<p>八五二 一三九五 一一〇五 八七九 四八〇 五九五 一四六二</p>	<p>二R— 「一二二五は——もちよせれ」 反復部なしか 「一二二五は——もちよせて」</p>
<p>もちちやる もちみちゑる もちよせて もちよせれ もちよる もちよわれ</p>	<p>まわちへ もちちやる だうのし なむぢや こがね もちみちゑる しけち もちよせて にしひがのかまへ もちよせて しけち もちよせれ あまみきよが はぢめど もちよる あぢ(あんじ)おそいしよ(ゆ) きみぎやせぢ もちよわれ あれ あれ みるろ のろく あよ ちよく もちよわれ おかう かなしけ すゑ ながく よう もちよわれ かみのもゝぢやらの おもて さうぜて こうば いし</p>	<p>五五 一〇九九 一二五五 一二二五 一〇七七 一二五五 一二二五 一〇二九 一一三、六九四 八九七 一三三三 四七</p>	<p>「いしとかねとあわちへすもどせ」のみか</p>

末尾句	反復句	所出オモロ	備考
<p>みぼ(ぶ)しや みまぶら みやげぼしや みやらに みやりぼしや みよわちへ みよわめ みよわれ みらな みらに</p>	<p>みぼしや うらきらしや みぼしや みいきよらや わかいきよ わかいきよが みぶしや 急 わすれたな なさいきよが 御(お)みかうの みぼ しや まぢよくあれ みまぶら なさいきよ かなしけや みやげぼしや ま物よせ みやらに さはねよらふさよ ち急ねんが みやりぼしや だしま とよむ おもかは あがておわちへ なさいき よ いきやて みよわちへ めつけ しょわちへ かなしやす みよわめ しまよ そろへて みよわれ 急け 人 おそて みよわれ あだにやのあやより くせより みらな いみや ある みや おたる けよから しばく みらに よしのうらの めづらしや けよから しばく みらに</p>	<p>五七一〇一四二二 一三九八 六〇四〇一四二四 八九三 三七八 一一三五 一三一六 九七六〇(五一七) 一三九六 四七五 一一三八 一〇三一 一一八一 六一</p>	<p>「けよから しばく らに」のみか 「けよから しばく らに」のみか 五―七は「わかいきよ いきやて みちやる」</p>

末尾句	反復句	所出オモロ	備考
<p>みおやせれ みちまわて みちやる</p>	<p>しらしよみしゆ みおやせれ ゑぞのてだ みちゑ みちまわて ↓みつまわて うらとよむあぢがなし みちやる おきなわ とよむ ま物うち みちやる おみやつぢ みちやる きもたかもり おとゝ みちやる きよらやの たまのみうち みちやる げに みちやる だに みちやる こかへ とよみよわる てだよ みちやる しまよりや まさり かくしかね みちやる そほらのつるぎ みちやる だしま とよも おもかは あがて おわちへ わかい きよ いきやて みちやる たま(玉) つむ きやんうち(きやの内) みちやる とよみよる(ろ) おゑざともり みちやる みれば みつまわて ↓みちまわて けお みちへ もゝと みぶさよわれ うの時のてだの あがて てりよるやに おみかうの</p>	<p>三四九 一二四五〇二七五 一三〇九 四二八 七三 一一六三 一一三二 一一九二 四一九 一三七〇 四三三 五一七〇(九七六) 二六八〇六六六 一三一五〇一五四〇 六〇六〇一四二六 七七一 四四二</p>	<p>三R—三 「みちまわて」は「道廻て」 か 「みつまわて」は「水廻て」 か 九七六は「—なきいきよ いきやて みよわちへ」 三行頭に「又」有りとすれ ば、反復句なし</p>

末尾句	反復句	所出オモロ	備考
<p>みおやせ</p>	<p>よ(世)そわるひやし うちちゑ(へ) みおやせ 世のいきつぎの 世のてもち みおやせ よのかほう 世もつせぢ みおやせ 世のつほに おぎやかもいに みおやせ 世のつほに 世のつくせ みおやせ 世まさるしまうちひやし みおやせ よ(世)まさるひやし うちちへ みおやせ 世もちわし こよわちへ しまうちくせ あんじおそ いに みおやせ 世もちわし とりよわちへ しまうちくせ あんじおそ いに みおやせ 世もつせぢ あぢおそいに みおやせ よゝせひやし うちあがる ひやしや 世 うちちへ みおやせ よりなちへ おぎやかもいに みおやせ わかきよもいに よがけすへ みおやせ わかきよらが 世がほう みおやせ ゑ おきなわの いやわ あぢおそいに みおやせ</p>	<p>一二四七〇 六二二〇 二二四 一〇四二、二四九 三四〇 六〇一 一三三九 五〇二 三五九 七三六 四六九 六八九 一七〇 一三〇 三七三</p>	<p>七四九もか。 三五九は「世もちわし りよわちへ」 五〇二は「世もちわし よわちへ」 こ</p>

末尾句	反復句	所出オモロ	備考
<p>みおやせ</p>	<p>みやかねよりもりに かみ下 そろて みおやせ みやがの ひやし なさいきよもいに みおやせ むよみの まきん とて みおやせ もくくら ひぎよせて みおやせ もくしまの たから つで みおやせ もく〔ち〕やらの かまへ つで みおやせ やちよ しらよきやは おぎやかもいに みおやせ やちよ 世のつほに 御みしやく ぬきやげは のちま さるひやし うちちゑ みおやせ やちよ ゑぞにやすゑ おぎやかもいに みおやせ やへりみや くもこ つで みおやせ よう(世) そろい(ゑ)て おぎやかもいに みおやせ 世がけせぢ まわちへ もちちへ みおやせ 世がけひやし みおやせ 世がほうせぢ おぎやかもいに みおやせ 世がほう まがほう みおやせ よそうせぢ あぢおそいに みおやせ 世そうせぢ おぎやかもいに みおやせ</p>	<p>一三五八 六四六 八六一 二八七 三二五 一〇七二 一二八七 一二九八 二四一 一二一四 九一一二七 六九 四四一 六六〇 一四八〇六五五、六七二〃 一〇八五〃一五二〃 一四五三 二二六</p>	<p>「のちまさるひやし」の みか 「おしかさに しられ、 やへりみや」か 「一〇八五は「みおや せ」</p>

末尾句	反復句	所出オモロ	備考
みおやせ	<p>とよむ大きみや もゝしま そろへやり みおやせ とよむ世そいもり よのかほう 世もつせぢ みおやせ なさいきよに みやがのもり みおやせ なさいきよもいに しまがいのち みおやせ なさいきよもいに 世のせぢ みおやせ なさきよもいに 世がけせるむ みおやせ なるやせぢ みおやせ のちまさる世がけひやし みおやせ 人のうらのかない かきよせて あぢおそいに みおやせ ひやくさいのち わかてだに みおやせ ひやくさぎやめ ちよわれば しまたづな くにごしや ん みおやせ ひやくさせぢ あんじに みおやせ ひやくさのち いのて みおやせ まはねぢは あんじおそいに みおやせ みしま いのて あんじおそいに みおやせ みとろかね みおやせ みもんくにひちゑり おわもりに みおやせ</p>	<p>一七六 二二四 六二九 一四三五 二七 一四四、三三四 七三四 三〇四 六六二 四〇 一五二四 二一六 五九七 四四五 四〇三 八五四 一九七 八一六 七三 一五二八 五三七 一三三三</p>	<p>「二四四」—しまがのち—」</p>

末尾句	反復句	所出オモロ	備考
みおやせ	<p>たまよ(世) そろゑ(へ)て みおやせ ぢやくに かなしけや かみ下のかまへ つで みおやせ てだがいのち かみがいのち みおやせ てによりした(天より下)の せぢがほ(ふ)う みおやせ てもちなわ ぬへわちへ まだま ゑらで よてこう ぬちへ みおやせ てもち よすぎいちへて くにてもち おぎやかもいに みおやせ てるてもち あぢおそいに みおやせ とかでは とうさ みきや はさめ 世がけひやし みおやせ とかでゑは とうさ みきや はさ「め」 よもちひやし みおやせ とか はさめ みおやせ 拾 はさめ みおやせ とく 大みや ひちやぢ なちへ みおやせ とく ゑらぶ たよりなちへ みおやせ ともとの 世そうせぢ あんじ(あぢ)おそいに みおやせ とよまちへ みおやせ</p>	<p>六三三〇一四七一〇 一四九三 八四一 二六〇 三二二一一一 三〇二 一一五四 七二四 二〇四七二一九七 一九七二〇四七 一四六九二四〇二 一四〇二二四六九 八六七 九三八 二〇四二七四三 三六〇 三七</p>	<p>「わがみ わかく なて だがいのち」か 「まだま ゑらで」の みか 一節のみのオモロ 一四〇二は「拾」 一四六九は「とか」</p>

末尾句	反復句	所出オモロ	備考
みおやせ	<p>しま かねて おぎやかもいに みおやせ</p> <p>しま そろ(ろ)て ともしすへ(急) みおやせ</p> <p>しま そろて あぢおそいに みおやせ</p> <p>しまたるめ あんじおそい みおやせ</p> <p>しまでん くにでん みおやせ</p> <p>しま ひろく そへて あんじおそいに 世 そへて みおやせ</p> <p>しまよ そろへ(急)て みおやせ</p> <p>しまよ ゆせて みおやせ</p> <p>しよりもり こがね つで みおやせ</p> <p>すゑ(へ)のひやし めづらひやし みおやせ</p> <p>たう なぼん かまへ つで みおやせ</p> <p>玉金 あぢおそいに みおやせ</p> <p>たま金みうちに たよりなちへ みおやせ</p> <p>たまのみつまわり まわちへ もちへ あぢおそいに みおやせ</p> <p>たまのみつまわり もつれ ぬちへ もちちへ みおやせ</p>	<p>一一五〇</p> <p>一一三〇〇〥一二六〇</p> <p>九七八</p> <p>一一六八</p> <p>六三五〥一四九八〥 一五五三</p> <p>三六</p> <p>四五一、一四〇八</p> <p>四五二</p> <p>一一六二</p> <p>一八八〥一五二四、 一二四〥一二七二、 一二四二〥一二七二</p> <p>七八〇</p> <p>九三二</p> <p>八三六</p> <p>四八</p> <p>一三五九</p>	<p>「こがねすへ おろちへ ま そろて——」か</p> <p>六R—三</p> <p>一四〇八は「あかんま物 みちやる しまよ そろ ゑて みおやせ」か</p> <p>「あし ねぶさき やぐめさ しよりもり——」か</p>

末尾句	反復句	所出オモロ	備考
みおやせ	<p>けおのうちに あつる もくちの てもちへ おぎや かもいに みおやせ</p> <p>けよのうちの おやひやし みおやせ</p> <p>げらへまさりとみ ふなやれ げらへて みおやせ</p> <p>げらへやり あんじおそい みおやせ</p> <p>げらへやり おぎやかもいに みおやせ</p> <p>こい(急)しのす もちよろゑて みおやせ</p> <p>こがねうちの 世そうせぢ みおやせ</p> <p>こがね(金)すゑ あんじ(あぢ)おそいに みおやせ</p> <p>こがね もちちへ あよ そろて よわい事 みおやせ</p> <p>こくらの てもち もちちへ みおやせ</p> <p>こしよりもり のぼせて あぢおそいに みおやせ</p> <p>この世 まさりよわちへ しま かねて あんじおそい に みおやせ</p> <p>しまうちしちへ あぢおそいに みおやせ</p> <p>嶋が命 あぢおそいに みおやせ</p> <p>しまがいのち(嶋が命) おぎやかもいに みおやせ</p> <p>しま かねて あぢ(あんじ)おそいに みおやせ</p>	<p>三四六</p> <p>一五〇〇</p> <p>七六八</p> <p>一〇二三</p> <p>二四〇</p> <p>五八一―一五〇六</p> <p>五八三</p> <p>六三六―一四九六</p> <p>一一四六</p> <p>六九二</p> <p>九六九</p> <p>一三〇二</p> <p>九二七</p> <p>七三八</p> <p>一一八―六五四</p> <p>九三一、一一〇二</p>	<p>二R―二</p> <p>「だに ま御み事る こい しのす―」か</p> <p>「あよ そろて―」のみか</p> <p>「しま かねて―」のみか</p>

末尾句	反復句	所出オモロ	備考
<p>みお(を)やせ</p>	<p>かぐらのしけうち あやよりも ぶれまて おぎやかも いに みおやせ かに はねて あぢおそいに みおやせ かみがいのち あんじ(あぢ)おそいに みおやせ かみしむのかまへ つで みおやせ かみしも そろゑる 世のとで うちちゑ みおやせ かみしもの いくさせぢ みをやせ かみしもの たから つで みおやせ きゝや 大みや ひちやぢ なちへ みおやせ きみぎやいのち おぎやかもいに みおやせ きみぎやこがねすへ 天つぎに みおやせ きみぎやせぢ おぎやかもいに みおやせ きみぎやせぢ もちよろ(る)なちへ みおやせ きみつほに おぎやかもいに みおやせ きむたるににせあんじ ふうくに そろゑて みおやせ くにつぼに あぢおそいに みおやせ 国 ひろく そへて あんじおそいに 世 そへて みおやせ くもこすへ おぢおそいに みおやせ</p>	<p>一五三 九二三 六二八 八九〇 二二〇 二三五 二八八 九三九 六六四 一九九 七〇七 二〇六 二九二 一三七五 二七〇 六六七 一二八三 一三〇三 三六 七二六</p>	<p>二R一 二R一 六R一四</p>

末尾句	反復句	所出オモロ	備考
<p>みお(を)やせ</p>	<p>いに みおやせ</p> <p>おきなわの いよわ あぢおそいに みおやせ ↓ゑ</p> <p>おきなわの いよわ あぢおそいに みおやせ</p> <p>おぎやかもいに かさり うちちへ みおやせ</p> <p>おぎやかもいに 金すへ みおやせ</p> <p>おぎやかもいに しま そゑて みおやせ</p> <p>おぼつの よもつとで あぢおそいに みおやせ</p> <p>おもいのおぎも と(とう)ちへ(ゑ) みおやせ</p> <p>おもうやに うちやあがりやり みおやせ</p> <p>おもしろする大や 世そうひやし うちちへ(ゑ) みおやせ</p> <p>おもしろよ みおやせ せるむよ みおやせ</p> <p>おやおうねや はちへきより みちや はりやちへ き</p> <p>ゝやしよわ 世のつほに 世のつくせ みおやせ</p> <p>かがみいろの すでみづよ みおやせ</p> <p>かぐら あつる くもこいし てづて おぎやかもいに</p> <p>みおやせ</p> <p>かぐら あつる くもこごちへ みをやせ</p> <p>かぐらせぢ あんじ(あぢ)おそいに みおやせ</p>	<p>四</p> <p>六六五</p> <p>一二二</p> <p>一〇一</p> <p>一四〇四 一四四一</p> <p>八〇九</p> <p>六〇〇 一四一八</p> <p>四一一</p> <p>七四九</p> <p>一一一九</p> <p>三四六 一五三九</p> <p>二二二</p> <p>一五二 一六九</p>	<p>三四六は二R一</p> <p>「世のつほに 世のつくせ みおやせ」のみか</p>

末尾句	反復句	所出オモロ	備考
<p>みおやせ</p>	<p>あぢおそいに してて おもうやに うちやあがりやり みおやせ</p> <p>あぢ(あんど)おそいに 嶋(しま)がのち(いのち) みおやせ</p> <p>あんどおそいに 世がほうせぢ みおやせ</p> <p>あんど(あんど)おそいに 世がほう みおやせ</p> <p>あまへとみ かまへ つで みおやせ</p> <p>あまみやから すでみづ すでみづよ おぎやかもいに みおやせ</p> <p>あまみやよの 世そうせぢ みおやせ</p> <p>あまるのち しちやちやに みおやせ</p> <p>あやつぢへ わかいきよに みおやせ</p> <p>あよ そろお たゝみきう まへかち 天が下 たより なちへ みおやせ</p> <p>あよ そろて かぐらひやし みおやせ</p> <p>いきよいつな やちよこ もゝうら そわる ひやし うちちへ みおやせ</p> <p>いくさせぢ みおやせ</p> <p>いちへみ さうず げらへて すでみづよ おぎやかも</p>	<p>八〇九</p> <p>二一〇〃二九七〃 七四五〃一三八〇</p> <p>八七八</p> <p>二四〃一四一</p> <p>七七七</p> <p>一二八九</p> <p>一〇八四</p> <p>一一五八</p> <p>七〇八</p> <p>八四六</p> <p>七二二〃一五〇九</p> <p>七一</p> <p>一〇〃一二八</p> <p>一〇八〇</p>	<p>「おもうやに―」のみか</p> <p>二R―</p> <p>「すでみづよ おぎやかも いに―」のみか</p> <p>「すでみづよ おぎやかも いに―」のみか</p>

末尾句	反復句	所出オモロ	備考
<p>まぶりよわれ まぶれ</p> <p>みあ(やあ)ぐむ みおやせ</p>	<p>ちよわる あがたゝみがなし まぶて まぶりよわれ あんは かみ てづら かみや あん まぶれ くれて はりよれば せんきみしよ ほがさ おそて まぶれ</p> <p>なみかぜ なごやけて あすもりのきみくしよ まぶれ なみかぜ なごやけて うらのかず きみくしよ まぶれ なみかぜ なごやけて さやはたけ きみくしよ まぶれ なみかぜ なごやけて せらちよんの きみくしよ まぶれ</p> <p>みちへど みやあぐむ</p> <p>あかかねのよなおし 中 もらちへ あんじおそいに みおやせ</p> <p>あすもりの よもつすでみづよ みおやせ</p> <p>あぢおそいしよ きみ そわて おほつ世わ みおやせ</p> <p>あぢおそいに おほつ とよむ きみぎやせぢ みおやせ</p> <p>あぢおそいに かまへ つで みおやせ</p> <p>あぢおそいに くにてもち みおやせ</p> <p>あぢおそいに 金 つで みおやせ</p>	<p>八六 九五一 八五三 八五三 八五三 八五二、八五三 八五三 一〇三九 二五五 八八 七四二 九一三 一六五 九三〇</p>	<p>「せんきみしよ」のみか 六R―二 六R―四 八五二は二R―一。八五 三は六R―一 六R―三 一―二五四は「―みあぐむ」</p>

末尾句	反復句	所出オモロ	備考
まぶら	<p>あおりやへ あんじおそい まぶら かも ほとけ いみやのあんじ(あぢ)おそい まぶら きらのかず あぢおそい まぶら さすかさす なさいき「よ」もい まぶら てにのてだ あぢおそい まぶら もぢよろなちへ あぢおそい まぶら なみかぜ なごやけて しよりもり きみくしよ まぶらめ なみかぜ なごやけて まだまもり きみくしよ まぶらめ てるかはが きよらや てりおそう だしま まぶりやべら あおりやへ なさ まぶりよわちへ すゑ まさて あすびぶれまへば かみてだの ほこて まぶりよわちへ 世のさうず いぢやちへ かみてだの そろて まぶり よわちへ おぎやかもいや きみしよ まぶりよわめ つきしろす なさいきよもい まぶりよわめ おぎやかもいや きみしよ まぶりよわめ てだ てるかはと とこへ やりかわちへ しよりもり</p>	<p>一二三七〇(一二五七) 一四〇五〇(一四六八) 七三七 一七七 三八六 三六一 八五三 八五三 八五三 三六二 一二五七〇(一二三七) 三七〇 三九九</p>	<p>一二五七は「あおりやへ なさ まぶりよわちへ」 六R一五 六R一六 一二二七は「あおりやへ あんじおそい まぶら」 一三四は「まぶりよわ れ」 一六は「まぶりよわめ」 「しよりもりちよわる」 のみか</p>
まぶらめ			
まぶりやべら			
まぶりよわちへ			
まぶりよわめ			
まぶりよわれ			

末尾句	反復句	所出オモロ	備考
まさりよわれ	あがなさす ふため まさりよわれ あまへて しま内 まさりよわれ かけて まさりよわれ せぢ まさて しまうち まさりよわれ もゝあぢより およ まさりよわれ いみやからど いみきや まさる いみやからど おぎもせぢ まさる いみやからど 御さけや まさる いみやからど ごゑくは いみきや まさる いみやど いみきや まさる しらたる いちよかゝ ころた あやのみやし うちよ わちへ かみは またたな やほう ひちへ まちよら あんじおそいてだの おうねど まちよる つかいど まちよる なさへ(い)きよが いきよいぢよ(ど) まちよる みちやぶれや 世のぬしぢよ まちよる てだ かみ そろへて まぶよわれ	五六〇 一四二二 八六四 七七二 九〇三 二四九 一〇〇九、一二九四 一〇一二 一〇〇三 七九 三九三 五九六 一四六三 六四一 一四五二 五一〇 八九二 六九九 六九〇、一三〇八 九三六 一五五二	cf「いみやからど いみきや まさる」 「あまへわちへからは いみやど」か 一四六三は「うちよ」わ「ちへ」 cf「いみやからど ごゑくは いみきや まさる」
またたな	またたな		
まちよら	まちよら		
まちよる	まちよる	反復部なしか	
まぶよわれ	まぶよわれ		

末尾句	反復句	所出オモロ	備考
<p>〈マ行〉 まかせ まさり</p>	<p>おにより まさり せぢ そわて もとぢやら まかせ あんじのつんじ おとぢやより まさり おまん たまより まさり きみがなし みちやる まさり けよも あちやも おみきやうよ おがむすが まさり てだよ みちやる まさり とよめば み〔る〕すが まさり のぼて みちやる まさり みらんすが ほるび きこゑおに みちやすが まさり 世(よ)がけわし とりよわちやる まさり ゑらびいぢへの まかね しまよりや まさり なおちへ よく まさりよわ あまへて しまより まさりよわちへ だに さうぜて ふため まさりよわちへ のりがなし しまうち まさりよわちへ まさのいぢゑきあぢや おや して しまうち まさ りよわちへ</p>	<p>六一四 一一四三 三九五 三一九 三八九 五六九 一四二〇 一三六〇 三三一、四二七、 一〇六八 一一八七 一〇四六、一三六二 一一五一 四二一 五一六 一三二〇 一三八三 四〇〇 一二九九</p>	<p>「みるすが まさり」のみか 「あがなさす だに さう ぜて」か</p>

末尾句	反復句	所出オモロ	備考
<p>ほこて ほこら ほこりぼしや ほこりやべら ほこりよら ほこりよわちへ(急)</p>	<p>せぢたかむ ほこて おやおもひ くわおもひ しようちへ 急け ほこら きよらや ほこら むかい ほこら よさにやく／＼ ほこら 急け ほこら あまへぼしや ほこりぼしや あまへやべら ほこりやべら あまへよら ほこりよら いのりよれば てだが ほこりよわち急 おもやげのぐすく てだが ほこりよわちへ かみ すぢや そろ(る)て ほこりよわちへ かみてだの そろて ほこりよわちへ(急) てだが ほこりよわちへ のぼて いけば てだが ほこりよわちへ みやがり ほこりよわちへ 世まさるみやがり ほこりよわちへ</p>	<p>三七二 一三四七 一〇六〇、一三六七 三四三、七七六 一一九〇 一二〇二 四二三 二八九 一一五七 二八三 一二七九 二三七、一五一五 二二一、二八二 一〇七六 一〇六一、一三〇四 一一三二、一一二五一 五八</p>	<p>二R— cf 「かみてだの そろて ほこりよわちへ」 cf 「かみ すぢや そろて ほこりよわちへ」</p>

末尾句	反復句	所出オモロ	備考
<p>ふさよ(ゆ)われ</p>	<p>げらいまさりとみ おしうけらば しまよ ふさよわれ てだがおざし ほこて あんじおそいしゆ かけて ふ さよわれ とやり ふさゆわれ みちや わしげ くまたかのやり ふさよわれ みやぎぜん かなひやぶ あぢおそいす かけて ふさよわれ もうらまちらす たちよわちへ ふさよわれ よきあがりしよ てづて ふさよわれ きやのうちみやに こがね ふりみちへて ひやし うちちへ きみよ ぶれよわせ</p>	<p>七四八 三五七 一三五六 一三六五 八二九 五八九 一四七六 一三三六 一九 一三七 六八六</p>	<p>ふcf 「みやぎぜん かなひや あぢおそいす かけて ふさよわれ」 cf 「てだがおざし ほこて あんじおそいしゆ かけて ふさよわれ」 cf 「しよりもり こがね よりみちへて」</p>
<p>へらい へらいぼしや ほこて</p>	<p>あぢ てだ おやまで へらい げにや へらいぼしや うらのなりとよみ よりかさが ほこて うらのなりとよみ うてば よりかさが ほこて しつらいののろの けおのより しようれば いつこた しやり ほこて</p>	<p>二七四 一三二八 三九一 九七〇 一一八八 一一五三</p>	

末尾句	反復句	所出オモロ	備考
<p>はりよれ ひきよせれ ひぢめ ひぢめわちへ ふさいよわちへ ふさよわ ふさよわちへ ふさよわれ</p>	<p>あは おしられ おやまてす はりよれ なよくら てづてす はりよれ とく 大みや かけて ひきよせれ せぢや やり やまとしま ひぢめ あおて いきやり かたき ひぢめわちへ さしやり ふさいよわちへ きこへくろかりやよ とりよわやり ふさよわ あまゑ ふさよわちへ かねもちのみこし さしやり ふさよわちへ しのびあぐみちよに まぶるかみ そわて まぶられて かよい ふさよわちへ あけろとし たゝかず きみく てづて ふさよわれ あぢおそいしよ てづて ふさよわれ あはれまへゑくが もゝしま うちちへ かけて ふさよわれ おぎやかもししよ かけて ふさよわれ おもひぐわす かけて ふさよわれ</p>	<p>九〇二 八一、八二二 五三 九七 二五〥一四二 一一〇九 七九一 二一五 四〇七 八六二 七二五 一六四 一〇一三 一六八 一〇三八</p>	<p>cf「あぢおそいしよ ふさて ちよわれ」 かけ</p>

末尾句	反復句	所出オモロ	備考
<p>はりやせ</p> <p>はりやに</p> <p>はりよる</p>	<p>なごなごと なごやけて はりやせ</p> <p>なでまつは げらへて はねうちがま すだちへ とぶ</p> <p>とりと いそいして はりやせ</p> <p>ひといちよは すかまうちにはりやせ</p> <p>ふなさき つよ つけた はりやせ</p> <p>まやゑて うらこしちへ はりやせ</p> <p>みぢへりきよす あおりやゑて はりやせ</p> <p>めつけ しよわちへ はりやせ</p> <p>ややのまほう おしあげて はりやせ</p> <p>ゑがきみはね こよわちへ くもかせ しなへて はりやせ</p> <p>うらこして そで たれて はりやに</p> <p>大きみに まはへ(い) こうて はりやに</p> <p>で わん これ いちへ はりやに</p> <p>つかさくど ゑ あは いのて はりよる ゑ</p> <p>てりやあがりは たかべて あぢおそいが 御つかいど</p> <p>はりよる</p> <p>みきやでは とうさ けよも あちやむ みさゝげど</p> <p>はりよる</p>	<p>九三四</p> <p>九〇一</p> <p>八六〇</p> <p>八〇五</p> <p>九〇七</p> <p>九四八</p> <p>八八〇</p> <p>八三二 一五三六</p> <p>八四三</p> <p>八五六</p> <p>七五〇、七六四</p> <p>七六九</p> <p>七四七 一五三五</p> <p>八〇二</p> <p>一〇四九</p>	<p>「とぶ」といそいしてはりやせ」のみか</p> <p>一五三五は「つかさくど」となし</p>

末尾句	反復句	所出オモロ	備考
<p>はりやせ</p>	<p>おうね くらなみ ようつゆ かけらたな はりやせ 大きみに おゑちへ こうて はりやせ 大きみに まはゑ こうて はりやせ 大主が このみす ゑそこみおうね このたれ おぎも の しなおやに はりやせ おみしやく さしやげば はりやせ おやおうねよ まぶりよわ まやゑて みまぶてす はりやせ おややらばてゝ わん はりやせ おゑたてゝ はりやせ ゑ やれ ↓ゑ やれ おゑちへ こうて おもやに はりやせ おゑちへ こうて はりやせ さすかさは わきかぢ とて はりやせ すづとみのおやおうね あぢおそいがおさ とり はりやせ せなはおきて おゑちへ こうて はりやせ そよらく はりやせ とおく はりやせ とぶとりと いそいして はりやせ とも まぎやげ なはどまり はりやせ</p>	<p>八〇八 七六二、九一二 九二五 八三一 八四〇 九二九 八九八 八九五 九二〇 五四一―九五七 九六六 七五二 九四九 七九五 九七一 八八五、九四三 八六九</p>	<p>ちcf 「まやゑて うらこし へ はりやせ」 五四二「は(り)やせ」 九四三は「おやおうねは だちへ」とぶとりと―「か ず</p>

末尾句	反復句	所出オモロ	備考
<p>はやせ はりやさいよ はりやさ はりやさに はりやしよわ はりやせ</p>	<p>月のかず あすびたち ともくと わかてだ はやせ で わん おぎも はやせ 急いにせや ともくと あんじおせい はやせ はやく はりそいよ こがねくち はりやさ お急ちへ こうて はりやさに あまへて ぶれまて はりやしよわ かみく あまへて ほこてす はりやしよわ もしろやほう うらまきちへ はりやしよわ いぢへら(いぢら)かず おみまぶてす はりやせ いぢやさかず せぢ そわて はりやせ いでらかず そで たれて はりやせ うきぎよらは げらへて こがね つで しよりかち はりやせ うきぎよら はりやせ うけるかず せぢ そわて はりやせ うらくくと はりやせ うらこしちへ そで たれて はりやせ</p>	<p>六七一〇六九 六四二〇五七五〇 一四六〇 一〇九一 七七〇 八八四 九五三 七九六 八〇七 八三七 七四六二五五〇 九〇五 八七八 九一五 七九二 九〇六 五〇九二八八一 九二八</p>	<p>「ともくと わかてだ はやせ」のみか 五七五・一四六〇は「でわん おぎも はやせ」 「ともくと あんじおせい はやせ」のみか 反復部なしか 二R一</p>

末尾句	反復句	所出オモロ	備考
<p>のちやるごとく</p> <p>へ八行</p> <p>はけわちへ</p> <p>はちへおわちへ</p> <p>はやさ</p> <p>はやせ</p>	<p>もちなちやる いけくしや くもこまだまなわ「のちやるごとく」</p> <p>ま 人 ゑらで よせて かぐらのくひよもい はけわちへ</p> <p>あおる こがせや もどる くもは きやり こがねし</p> <p>ま はちへおわちへ</p> <p>やちよくた まちよ ふきの よりあふしま はちへおわちへ</p> <p>ゑがきとり まやうしま はちへおわちへ</p> <p>で わん おぎも はやさ</p> <p>あやつちへに せゝ はやせ</p> <p>いけくしく はやせ</p> <p>かみ すぢや そろて きみ はやせ</p> <p>きみくらよ きみくらす あんじ はやせ</p> <p>これ いちゑ あんじおそい はやせ</p> <p>しけち まみきもりや ともゝと わかてだ はやせ</p> <p>すづとみす あぢ はやせ</p>	<p>七二</p> <p>一〇一五</p> <p>五三〇〥一五四五</p> <p>九六〇</p> <p>九七二</p> <p>五七五〥(六四二)〥</p> <p>一四六〇</p> <p>七七</p> <p>五九三〥一四八〇</p> <p>一三〇五</p> <p>一三三三</p> <p>二五二</p> <p>四四八</p> <p>六一九〥一四三二</p>	<p>「くもこまだまなわのちやるごとく」のみか</p> <p>六四二は「で わん おぎも はやせ」</p> <p>cf 「いぐまちへ はやせ やちよこ」(六五六)「うちあがて はやせ やちよこ」(七〇二)</p>

末尾句	反復句	所出オモロ	備考
<p>ならめ なりあがらせ なりよわちへ なりよわめ にせたれ にせめ にせれ</p>	<p>ともゝすゑ あまゑよす ならめ うちちへ なりあがらせ げらへあやつゞみ うちちへ なりあがらせ もゝぢやらの ぬしてだ なりよわちへ そで たれて かなわせ しまのぬし 世ののし なりよわめ あがなさす しまのぬし にせたれ せのきみしよ よは にせめ たるが きちへ にせる あぢおそいでたす めしよわ ちへ にせれ わかてだす きみく にせれ 御みしやく ぬきあげ おみしやく ぬきあげは あまくれ おろちへ よるい ぬらちへ ゑけりぎや みそではな ぬらちゑ</p>	<p>二七六 五二 六六九 一〇五四 三三五 一五二七 一〇四 一三三 一三八四 一四〇七 六〇 二二八 六〇八 二四二八 二四二八 六〇八 一〇二七 九九九</p>	<p>反復部なしか。または「うらとよむつゞみ うちちへ なりあがらせ」か 「いのりやり ちよわば せのきみしよ よは にせめ」か 反復部なしか。または「あぢおそいでたす めしよ わちへ にせれ」か 二四二八は「ぬきあげは」 六〇八は「ぬきあげ」 反復部なしか</p>

末尾句	反復句	所出オモロ	備考
<p>なおしよわちへ なおしよわれ なおせ なげかすな なちやる なよびかせ なよら</p>	<p>この世 おそて なおしよわちへ もくと ちよわれ あぢおそい のちまさり 百(もと) あぢ なおしよわれ おそて そろへわちへ おぎものせぢ しやり なおせ ちかわすは よりいでやり なおせ いつこ なげかすな ゑらぶしま なちやる やゝのくせ なよびかせ あまへ なよら きみし してて なよら 君 してて なよら で やかやちや ゑ なよら ひやし うちあげれば きみも なよら まんべの ひやし うたば きみも なよら きみ してて なよらに いみやど おれて なよる なお みちへが なよる きみ みちへす なよれ おかう ならで</p>	<p>七七三 一七三 一五二〇 三三三 一〇七四 九六 九三五 四九六 一一一四 九八九 一〇六 二三三 七七五 四八四 五七 二三 二〇六 七二五 二〇一 九六四 一三五三</p>	<p>「おぎものせぢ しやり なおせ」のみか cf「きみ してて なよらに」 二三は「きみ してて なよらに」 cf「まんべの ひやし うたば きみも なよら」 cf「ひやし うちあげれば きみも なよら」 一〇六は「君 してて なよら」 「ゑかうに きやか おかう ならで」か</p>

末尾句	反復句	所出オモロ	備考
<p>とよむ</p> <p>とよめ</p> <p>とり</p> <p>とりよわれ</p> <p>〈ナ〉</p> <p>なおさ</p> <p>なおしよわ</p> <p>なおしよわちへ</p>	<p>しまのぬしてだよ いみやど かみしも とよむ</p> <p>ともゝすゑ これど いちゑ とよむ</p> <p>もゝすへ これ〔ど〕 とよむ</p> <p>もゝつ かわりくるぎやめ これど べにひき とよむ</p> <p>あんじ(あぢ)おそいしよ(す) とよめ</p> <p>だりじよ また かみ下 とよめ</p> <p>てどこんす にほんうちに とよめ</p> <p>↓かいとり(名詞の部)</p> <p>よぎやのろす おもろねや とりよわれ</p> <p>よけ よう よ なおせ 世う なおさ</p> <p>天が下の あんじ げす ちかわすは おぎも しやり</p> <p>なおしよわ</p> <p>おもろくさり おろちへ おろちへ なおしよわちへ</p>	<p>二一三</p> <p>二四六、二四七</p> <p>一九〇</p> <p>二四三</p> <p>三三〇八七六、五二九</p> <p>七五六〇一五四八</p> <p>一〇一八</p> <p>五一</p> <p>五二二</p> <p>八二四</p> <p>四三</p>	<p>cf「もゝすへ これど とよむ」</p> <p>cf「ともゝすゑ これど いちゑ とよむ」</p> <p>三三・八七六は「ちやくにや世そある(そい)あんじおそいしよとよめ」か。五二九は「ちやくによせたるあちおそいしよとよめ」か</p> <p>「おろちへ へ」のみか なおしよわち</p>

末尾句	反復句	所出オモロ	備考
<p>とよませ</p> <p>とよみ</p> <p>とよみきゝやれよれ</p> <p>とよみよわれ</p> <p>とよむ</p>	<p>おがむすが いやば きちやらつは きやう かまくら とよませ</p> <p>しまのうらに とよませ</p> <p>なさがげらへかみ かけて なさいきよ とよませ</p> <p>あぢほこる(あんじほこる)おみや(おやみや)の とよみ しまうちの とよみ</p> <p>しま世の とよみ</p> <p>ともゝとの かたなうちの とよみ</p> <p>みのかは うちちへ とよみ ↓急げ みのかは うち ちへ とよみ</p> <p>みもんみやぶ かみしもの とよみ</p> <p>もゝうらの とよみ</p> <p>急げ みのかは(わ) うちちへ(急) とよみ ↓とよみ(「名詞の部」)</p> <p>あらは急す とよみ きゝやれよれ</p> <p>かたなうちい(す) ぢやくに とよみよわれ</p> <p>天がした だりじよ とよみよわれ</p> <p>ぐしかわのまだま あんじからど とよむ</p>	<p>一〇五八</p> <p>一一三七、一一四七</p> <p>一一七一</p> <p>一七一〇、一一二七</p> <p>一七〇(二三五)</p> <p>一三五〇(二七)</p> <p>一〇九七</p> <p>二七三</p> <p>五八六〇、一四七三</p> <p>五七八〇、一五〇三</p> <p>一一五五</p> <p>五〇一、二二三</p> <p>二六二</p> <p>六四四</p>	<p>「きちやらつは きやう かまくら とよませ」のみか</p> <p>「三五は」しま世の とよみ</p> <p>「七は」しまうちの とよみ</p>

末尾句	反復句	所出オモロ	備考
とゞやけれ	おそて かけて とゞやけれ	三二〇	
とよで	もゝしま しま うちちへ とゞやけれ あがころよ みまぶて かぐらぎやで とよで いつこしま とよで	一三五四 一三七一	
とよま	かぐら とよで まいとおどし けさつり とよで あやつぢへ とよま おそつぢへ ゑけ とよま	三九 一一四〥五〇八 六一三〥一四六六 六二一〥一四三七 七〇五	
とよま	きや かまくら これど いちへ とよま けおのうち もちよるなちへ とよま しのこて とよま てはかりやり せめつけて とよま で わん わん かぐらぎやめ とよま ともゝすゑ これど いちへ とよま なおちへ とよま なさいきよに しなて とよま やちよ かけて とよまさに	一七二 一三九九 一四四六 一五〇二 二七八 四二九 五八五 二九〥一四七〥 一五三一	cf「ともゝすゑ これど いちへとよま」―き ちやらつは きやうか まくらとよませ」 「又」部では「けおのうち もちよるなちへ」とよま
とよまさに			cf「きや かまくらこ れど いちへとよま」

末尾句	反復句	所出オモロ	備考
<p>つけれ つりあわちへ つるぎ ておら てづて</p>	<p>うけみつなりおそい つけれ はな おちへ(急) うらとよむまちらす つけれ なみ つりよせ つりあわちへ 人のうらに あつる かまゑ よせ かき つるぎ あがころが とも はいの つるぎ ておらとし ておら あがなさいきゆ のちまさり てづて いちのなよりきよ てづて かなひやぶ てづて あがなさいきよ のちまさり てづら もゝすへ てづられ もゝと てづられゝ きらのかず あぢおそいす てづれ てるまもん てりよら よそいのみこし 急 まだまど てりよる よのあけて てだの てりよるやに てだこ大ぬしや きよらや てりよわれ</p>	<p>七七九 一三三九〇一三九二 五〇五 四四六 九五六 一〇二四 二二六〇(六七六) 一三三九 三三六〇一五二八 六七六〇(二二六) 一三九四 五六四〇一四一六、 一一一五 七一二 一〇四〇 一三三五 二一四 五二二〇一五二九</p>	<p>「うらとよむ」のみか 「つるぎ」の語義未詳 二R— 六七六は「てづら」 「みち あけて かなひや ぶ—」か 二二六は「てづて」</p>

末尾句	反復句	所出オモロ	備考
<p>ちよわれ</p> <p>つかい</p> <p>つぎよわれ</p>	<p>やちよこ いややに おそて ちよわれ</p> <p>世おそうおもりに よそわるくにつぼに ちよわれ</p> <p>よくむ(も) またも うちやがて ちよわれ</p> <p>世そうせぢあぢおそい 天ぎやした せぢ やりやり</p> <p>ちよわれ</p> <p>よそわて ちよわれ ↓ゑけ よ そわて ちよわれ</p> <p>世のまさて よのつんじ かみてだのせぢ もちやり</p> <p>ちよわれ</p> <p>よひろく ようながく ちよわれ</p> <p>世まさりのおぎやかもひしよ ともくと ちよわれ</p> <p>ゑ おきにや(なわ)あんじおそいす(しよ) ちよわれ</p> <p>ゑけ せぢ まさて ちよわれ</p> <p>ゑけ 世 そわて ちよわれ</p> <p>ゑぞにやすへ おもいぐわす ちよわれ</p> <p>ゑぞにやすへ てだがうち 世ひろく 世ながく ちよわれ</p> <p>↓つかい(ひ)(名詞の部)</p> <p>いしかねのやに をのち つぎよわれ</p>	<p>五八四</p> <p>一二八二</p> <p>四六五</p> <p>二三八</p> <p>一五五</p> <p>二五四</p> <p>二二二</p> <p>五四六(八六六)</p> <p>五一</p> <p>一三六三</p> <p>二六四</p> <p>二四五</p> <p>四五六</p>	<p>「よそわるくにつぼに ちよわれ」のみか</p> <p>「かみてだの——」のみか</p> <p>cf「ゑぞにやすへ てだがうち 世ひろく ちよわれ」</p> <p>cf「よひろく ようながく ちよわれ」</p>

末尾句	反復句	所出オモロ	備考
ちよわれ	<p>にしかない よせて また よく まさる ひがかない まへ よせて ちよわれ にしのかねまる(丸)は のちがすゑ おせわ おぎやか もいす ちよわれ ねいし まいしの あらぎやめ ちよわれ のちあがりしよ 世わ ちよわれ のちも みやも ちよわれ ひやくさぎやめ おぎやかもしよ ちよわれ ひやしのつち うたば ともくと ちよわれ ほしのかた もちろんちへ ちよわれ まぶり(れ)よわば もゝすゑ(へ) ちよわれ まんまん(万々) あすらまん ちよわれ みかなしけ あんじおそい うら／＼(浦うら)と ゑん ざしき ちよわれ みかなしわかいきよ もゝすゑ ちよわれ もゝすへ おぎやかもししゆ ちよわれ もゝとあがり ふみあがて ちやう(よ)われ もゝと世(よう)す ちやう(ちよ)われ</p>	<p>一三四五 六一八〇一四三〇 三一六〇一五五二 一一六〇六五二 六四 一八〇一三六 四四〇 五一三 三六九〇六一七〇 一四三九 一四〇一三三二 二二〇一四〇〇三六八 六三四〇一四七二 一九五 七一九〇一三五〇 七二四〇一七六</p>	<p>一四三〇は「—」のちすゑ のおよは「—」</p>

末尾句	反復句	所出オモロ	備考
ちよわれ	<p>とひやくさす ちよわれ</p> <p>とひやくさ ちよわれ</p> <p>ともゝ さにしちへ ちよわれ</p> <p>ともゝすへ あんじ(あぢ)おそいす ちよわれ</p> <p>ともゝすへ おぎやかもいす ちよわれ</p> <p>ともゝすゑ おもひぐわす ちよわれ</p> <p>ともゝすへぎやめも おぎやかもいしよ すゑ まさて</p> <p>ちよわれ</p> <p>ともゝすゑ とひやくさす ちよわれ</p> <p>ともゝと さにしちへ(して) ちよわれ</p> <p>ともゝとす ちよわれ</p> <p>ともゝと ちよわれ</p> <p>ともゝと とひやくさす ちよわれ</p> <p>ともゝと もゝうらおそい ちよわれ</p> <p>なさいきよかなしけや よがほうかなふくに ちよわれ</p> <p>なさいきよもしよ きみ ふさて ちよわれ</p> <p>なさいきよもしよ くに とよで ちよわれ</p> <p>なさいきよもいわうにせ せぢ まさて ちよわれ</p>	<p>三二二、四一八</p> <p>一一二九</p> <p>一一〥(一二九)</p> <p>五五八〥一四二〇、 一四九四</p> <p>二四二〥一五〇八</p> <p>一〇八一</p> <p>二八〇</p> <p>二三四、二八三、 一〇七一</p> <p>一二九〥(一一)、 一七八</p> <p>一六〇</p> <p>三一七、四六六</p> <p>四七四</p> <p>二九〇</p> <p>一六六</p> <p>七三三</p> <p>一〇七</p> <p>二一〇〥二九六〥 七三九〥一三七九</p>	<p>一二九は「ともゝと」</p> <p>五五八・一四二〇は二 R一</p> <p>二八三は二R一</p> <p>一一は「ともゝ」</p> <p>各オモロとも二R一</p>

末尾句	反復句	所出オモロ	備考
ちよわれ	<p>千万 世 そわて ちよわれ たけ みつき しまのつぢ ちよわれ 玉よせぐすく てだす 世わ ちよわれ ぢ天の あらぎやめ ちよわれ つくしちやら おぼへて げらへて ともくと ちよわれ つしやこのいしと かねと やに てだ しひ つかば とのす 世は ちよわれ てだの てらぎやめ ちよわれ てだやれば とひやくさす ちよわれ 天下した(天ぎや下) すへ まさて ちよわれ てにがした(天が下) たいらげて ちよわれ 天が下 なわ かけて ちよわれ 天に てる てだと まぢゆに ちよわれ てりいぢゑやり ちよわれ てるかはが てりよるやに ちよわれ てるかはす まぶて 世は ちよわれ てるかはと あいちへなて ちよわれ 時 とたる まさしや おふれ よ そわて ちよわれ</p>	<p>三〇二二 六三〇〇二四九〇 一二八〇 二五七 一二四三二二七三 一〇五七 二七二 二五八 一五一七四一 一一一九 三五二 二二二 四六一 二七九 二三一 三四五 三九四</p>	<p>一三七三は「つくしちやら—ちよわちへ」 二R一二。</p>

末尾句	ちよ(やう)われ	反復句	さすがおそい 世 そわて ちよわれ しま おそて ちよわれ しまが おゑ ちよわれ しまが おゑるぎやめ ちよわれ しま そわて ともゝすゑ ちよわれ しま ひろく くに ひろく ちよわれ しま世の あらぎやめ(で) ちよわれ すへ(ゑ) ながく せぢ まさて ちよわれ すへ(ゑ) ながく 世 そろゑ(へ)て ちよ(やう)われ すゑ(へ)にぎやめ まぢよく ちよわれ すゑのおどの ちよわちゑ つほに みしやく ぬきあ げは すゑ まさて とひやくさす ちよわれ すへ まさて とひやくさす ちよわれ すゑ まさて よだ さちへ ちよわれ せぢ大やが うちがて ちよわれ せぢたか うちやがて ちよわれ せぢ まさて ちよわれ ↓ゑけ せぢ まさて ちよ われ	所出オモロ	二七一 三二九、七〇六 三〇八 一五二六 三〇七 二八六 二六六 二七九、四七三 二一〇 二九六 七三九 一三七九 六二四 七一三 一四八二 八九 三〇七 二九三 一三七六 二八五 二四八 一七五 一三三 一五 一五 一三三 五一一	備考	「きみぎや いのるもりに ちよわちへ しまが—」か 「世るもりに ちよわちへ しまが—」か cf 「よひろく ようなが く ちよわれ」 二七九は二R— 各オモロとも二R—二 「すゑまさて とひやくさ す ちよわれ」のみか 一五は「せぢたか うちや がて—」 一三三は「せぢ大やが ち ちやがて—」

末尾句	反復句	所出オモロ	備考
<p>ちよ(やう)われ</p>	<p>かほうせぢ まへ(急) よせて ちやうわれ かみしも おしや(あ)わちへ ちよわれ かみ下 世 そわて ちよわれ かみてだのせぢ もちやり ちよわれ かみてだよ つほこ しやり ちよわれ きこゑあんじ(あぢ)おそいや もゝと世す ちよわれ きみよ ほこりよわちへ あんじ(あぢ)おそいや もゝ と世す ちよわれ 国(くに) ふさて ちよわれ くにもり ほこて くに まさて ちよわれ くもこいろ てりやあがて ちよわれ げす ま人 すだしやり ちよわれ げらへわちへ ともゝすへ ちよわれ 此みしやこ ぬきあげわちへ 世は ちよわれ この世(此世) かけつめて ちよわれ これど かほうてだ ご急くの あらぎやめ ちよわれ これる くになかあぢ もゝあぢ おそて ちよわれ さしきよ ふみあがて ちよわれ</p>	<p>六〇九〥一四二九 三二八、四九五 一〇七八 一〇八八 一三六一 五九二〥一四七九 五七三〥一四五八 二〇五〥二九一〥 一三七四〥一五二二 三五二 二〇三〥七二〇 三〇五 一〇三〇 三七五 一三三五〥二六五 七八 一一九四 一〇一四</p>	<p>七二〇は「くもこいろよ てりあがて ちやうわれ」</p>

末尾句	反復句	所出オモロ	備考
<p>ちよわれ</p>	<p>いよやに おそて ちよわれ いよやに しま おへく 世 ながく ちよわれ うらうらと 御(お)さうぜやに ちよわれ おきなわあんじおそいしよ ちよわれ おぎやかもしよ てるかはが てりよわるやに ちよわれ おぎやかもし ほこて すゑ まさて ゆだ さちゑ ちよわれ 大世のぬしあんじおそい ともゝすゑ そろゑて ちよわれ おもいきみ げらへきみ きよらや てだ げらへて ちよわれ おもうやに げらへ 世のつち ちよわれ おもひぐわす とひやくさよ ちよわれ おもふぎやめ ちよわれ おやつきしよ よは ちよわれ かいなでたゝみきよ うらくと ゑんざしき ちよわれ かいなでわるあぢおそい かほうよるみやがのもり ちよわれ かいなでわるたゝみきよ かほうよるみやがのもり ちよわれ かつれん ゑらびやり ちよわれ</p>	<p>一〇六七 四五八 三四〇一五三三 八六六〇(五四六) 六五八 二八一 二二三 五六七(一四三三) 二九九 二五六 三九八 一〇六 三六六 一三一〇(二三) 一三一〇(二三) 一一二八</p>	<p>五四六は「ゑ おきにやあ んしおそいす」 一四三三は「おもいきみ げらへ」のみ 一三は「かいなでわるたゝ みきよ」 一三一は「かいなでわるあ ぢおそい」</p>

末尾句	反復句	所出オモロ	備考
ちよわれ	<p>あんじ(あぢ)おそいしよ かけふさて ちよわれ</p> <p>あぢおそいしゆ かみが世 ちよわれ</p> <p>あんじおそいしゆ きみ ほこて ちよわれ</p> <p>あぢ(あんじ)おそいしよ(す) すゑ まさて ちよわれ</p> <p>あぢ(あんじ)おそいしよ せぢ とよで ちよわれ</p> <p>あんじ(あぢ)おそいしよ(ゆ) せぢ まさて ちよわれ</p> <p>あぢおそいしよ ともすへ(ゑ) すゑ(へ)まさて ちよわれ</p> <p>あんじ(あぢ)おそいす(しよ) ともすへ ちよわれ</p> <p>あんじおそい ともすへ ちよわれ</p> <p>あんじおそいに みおやせ 大きみぢよ あよ そろて ちよわれ</p> <p>あぢ げす すだしやり ちよわれ</p> <p>あめもらんもりに いのりあがりしよ 世は ちよわれ</p> <p>いつも あんじおそいす ちよわれ</p> <p>「い」みやこより もとす ちよわれ</p> <p>いみやこより もとと世す ちよわれ</p>	<p>一一〇〥三八八、 一一一</p> <p>七二七</p> <p>七三五</p> <p>二六〥一四三、三二二</p> <p>二〇二</p> <p>一〇〇〥四九〇、 一〇〇九〥三八七、 二〇八〥二九四〥 一三七七、 二〇九〥二九五〥 七四四〥一三七八</p> <p>一五〇〥七四〇</p> <p>六〥一二四、 一一二〥一五二</p> <p>四一</p> <p>三六四</p> <p>一〇七〇</p> <p>三〇〥一四六</p> <p>一四〇六</p> <p>一一三三〥一二六三</p> <p>一二六三〥一二三三</p>	<p>一一一は二R一二</p> <p>一四六は「もりや ちあがるしよ」の</p> <p>一二六三は「もと 世す」</p> <p>一二三三は「もと す」</p>

末尾句	反復句	所出オモロ	備考
<p>たちよる</p> <p>ちよわめ</p> <p>ちよわる</p> <p>ちよわれ</p>	<p>なさいきよもいあんじ(あぢ)おそい あまこ よりか</p> <p>(あ)わちへ まなしやど たちよる</p> <p>みちへ いぢゑ おもかげど たちよる</p> <p>けれど こがねうち(こがねうち) たとわる</p> <p>なさいきよもい けれど だにの けおのうちの こが</p> <p>ねはなに たとわる</p> <p>やまとの かまくらに たとゑる</p> <p>うし こわば あんに たぼれ</p> <p>↓ちよわれ</p> <p>おしやげ みあぐで だりす はりす ちやれ</p> <p>おりぼしや ちよわちへ</p> <p>げらへ世ほこり ちよわちへ</p> <p>つくしちやら おぼへて げらへて ともくと ちよわちへ</p> <p>ともとすゑ とひやくさす ちよわめ</p> <p>もゝうらまちらすわ やまと きやう かまくら ふくによせ</p> <p>あぢおそい あぢおそいや おがめぼど ともくと ちよわる</p> <p>あがひやし うたば 世 そわて ちよわれ</p>	<p>九二〇三六五〇四九七</p> <p>三九六</p> <p>二三九〇一五一六</p> <p>三五三</p> <p>一一四四</p> <p>四四七</p> <p>八一三</p> <p>三一五、四四四</p> <p>一一一六</p> <p>一二七三</p> <p>二六三</p> <p>三七七</p> <p>一一〇八</p>	<p>四九七は「よりあわちへ」</p> <p>反復部なしか</p> <p>一二四三は「つくしちやら」</p>

末尾句	反復句	所出オモロ	備考
<p>せるむ</p> <p>せい(へ・ゑ)れ</p> <p>そろい(へ)わちへ</p> <p>〈夕行〉</p> <p>たすけわちへ</p> <p>たちあわん</p> <p>たちちへ</p> <p>たちよる</p>	<p>うらこやの せるむ</p> <p>ゑけ しまよせ せるむ</p> <p>あんじ(あぢ)おせいしよ(しゆ・す) 世(よ) そゑ(へ)れ</p> <p>こへがなしなりきよら うちちへ しま そいれ</p> <p>かみ下の とそば そろいわちへ</p> <p>なさいきよ 世 そろいわちへ</p> <p>もゝあぢ(あんじ)より まさり世(よ)わ すゑ(へ) な</p> <p>がくたまよ そろい(へ)わちへ</p> <p>世がほうもりに しまゆ(世) そろへ(い)わちへ</p> <p>あま ならちへ さしふ たすけわちへ</p> <p>なさいきよが おせぢ ももあぢ たちあわん</p> <p>なさいきよが みおもかげ たちちへ</p> <p>なさいきよもい みおもかげ たちちへ</p> <p>御さけや ゑよてど たちよる</p>	<p>一三五一</p> <p>六九六</p> <p>三五〃五六一〃</p> <p>一四一三〃一四五六</p> <p>八二七</p> <p>六七</p> <p>一〇〇一</p> <p>六一六〃一四三八〃</p> <p>一四四二</p> <p>二八〃一四五</p> <p>三四二</p> <p>三一〇</p> <p>三五八</p> <p>九六八</p> <p>六四五</p>	

末尾句	反復句	所出オモロ	備考
しよわれ しらちやらめ しられゝ	かけて かけふさい しよわれ かけふさい 世のふさい しよわれ 急かうに かうに 急かうに かみてだす しらちやらめ あよ そろて やぐめてゝ しられゝ 大きみに しられゝ おやみふさ きよりてゝ しられゝ めづらこ急 なさいきよまへ しられゝ しま みらば くめあら あちやわ なほどまり おや おうねや せのきみしよ しりゆわめ 大きみしよ しろわめ うら とよむ はねうちとみ すだちへ はねうちするこはいふさ すだちへ の(ぬ)きあ(や)げみづ かいなでみづ せまし せ あらば けおくなべ せらに みちへおて いき せらに おわるとゝ しらにや みちなか おむかい せらまへ	六六八 一〇五三 八七 四二六 八二三 一三三六 一二六六 八八六 八八三 九〇〇 一二八六 九〇八 七六〇 一五四九 一二三三 一二五二 一二九七 一一二五 一〇五六	

末尾句	反復句	所出オモロ	備考
<p>しよわちへ(急)</p>	<p>しよわちへ かけふさい よのふさい しよわちへ かほうとみ のりふさい しよわちへ きもたかもりや くにまさり しよわちへ ぐしかわに あよみ ぬら しよわちへ げらへあ(ま)くもい おぼつ よど しよわちへ けらまよ 御まざり しよわちへ しま中のげすの そろて おほこり しよわちへ つゞみごへ きゝぼしや しよわちへ ともゝすゑ のりふさい しよわちへ ともゝとの ふまわり しよわちへ ひやくさぎやめ おほこり しよわちへ ましけす まげらへ(急) しよわちへ(急) みぼしや しよわちへ もゝしまの ふうまわり しよわちへ ゑのちかみ このみ しよわちへ かみゑらびぎや けおのより しよわてゝ おもひぐわ のちまさり もゝあぢ しぢや しよわれ</p>	<p>一一九六 八八九 一四六七 六一一 一一五六 一〇〇七 四一五 四一四 一二〇五 八七五 一二六二 一二三三 一二一七 五七四 一四五九 一〇二六 一二三三 一二六二 三三〇 一五二二 一一五二 一〇九〇</p>	<p>「ぬら しよわちへ」のみか 六二一は「おぎもたかもりや——」 「おもひぐわ」まで対句部か 反復部なし 反復部なしか 一二六二は「ともゝとのふまわり しよわちへ」 反復部なしか。(cf 三二七)</p>

末尾句	反復句	所出オモロ	備考
<p>さちやる さらん しくたんか しちやる しなて しなよわれ しなわ(は) しなわに しめまし しゆるな しよらい しよわちへ</p>	<p>またな いな ちやはな さちやる まはねじ まはねじや きもからも さらん で わん しくたんか あめもらんかなもり さしきよ せめらてゝ しちやる あけのみあおり あおりやいと しなて まだまもん なさいきよもいと しなて せぢたかあんじおそい おやと しなよわれ で わん おぎもに しなは(わ) かまゑ はやく いぢへ おぎもに しなわに おぼつたけ あつる すでるてうみづよ かみぎやきも やてや いつこしま おろちへ かいなでみづ しめまし いみきもりぢよ いちよなしや しゆるな あまへど いちよなしやど しよらい かぐら おて ておりあすび しよらい あまへて けわいこぎ しよわちへ おぎもたかもりや くにまさり しよわちへ おとぢや いきやへしよわちへ ともゝとの おほこり</p>	<p>八一七 九五〇 一二八八 六八四 一〇八二 一一四二 六〇七〇 一四二七 四一〇 三四八 二六五 三七六 一五〇一 五一五 六一一 一四六七 一三四二</p>	<p>未詳語。「いざ漕ごうの意か」(辞)</p> <p>cf「あまへて けわいこぎ みもん」 一四六七は「きもたかもりや」</p>

末尾句	反復句	所出オモロ	備考
げらへ(急)て	おこのみの たかさ ぐしかわ わくさうず げらへ(急)て	六三八 一四四八	cf 「かみしも とよむ おやもい みおとの げらへ」
	かみしも とよむ みや あしやげ げらへて	九七四	
	かねがなし きみほこり げらへて	一三三八 二二六八	
	よ(世) そろう ぐしかわ げらへ(急)て	五〇〇 一四二五 (六〇五)	六〇五は「—げらへ」。
こがせ	こがせ	一四四四	反復部なしか。
	ぢみち あよむやに こがせ	五四八	
	なみしぐ いぐまちへ こがせ	一三〇〇	
	ゑ やれ しく しけ かけて こがせ	五四三	
こので	おやより こので	五七〇 一四二二	
こやべら	おもろたね こやべら	四〇四	
<p>〈サ行〉</p>			
さかやかせ	たらつみちへづきや おぎむ さかやかせ	一一二〇	
さゝまへ	きみしゆ よのくぎ さゝまへ	一七四	
さすやに	おこのみの たかさ あけくもの あさひ さすやに	一九六	
さちやる	大主が御まへに くねぶげは おへておちへ おれづむ	九八一	一節のみのオモロ。敵密には反復句不明。「おれづむ—」のみか。

末尾句	反復句	所出オモロ	備考
<p>きりふせて くるやに けやわせ げらへ</p>	<p>大ひらのいくさ けふ みあがやり もゝそ きりふせて しま かよて くるやに おにぐすく けやわせ あんじ(あぢ)おそいてだの このみよわるかまへ つむ せんよせ げらへ おもいきみ げらへ おもい こて げらへ かみしも(下) とよむ おやもい みおどの(ん) げらへ げらへよしみや あしやげ げらへ とよみよる つかい まころくが げらへ みいきよせ せんよせ げらへ もゝくら ひきつれる 御くら げらへ もゝまがり つみあげて かはらよせ 御ぐすく げらへ 世かはら よせ 御ぐすく げらへ 世そらもりに とよよせ げらへ 世 そらう ぐしかわ げらへ</p>	<p>一〇三 一一三二 四二四 六三九 一四四九 一四三三 五六八 四六二、八四二 一一二二 六〇三 一四二三 二二九 一三三六 一三八九 八七〇 四三九 三三八 六〇五 五〇〇 一四二五)</p>	<p>cf「かみしも とよむ みや あしやげ げらへて」 cf「世かはら よせ 御 ぐすく げらへ」 cf「もゝまがり つみあ げて かはらよせ 御ぐ すく げらへ」 五〇〇・一四二五は「げ らへて」。</p>

末尾句	反復句	所出オモロ	備考
<p>かなわしよわれ かなわせ かゑ(へ)ら</p>	<p>かみ下 おそて かなわしよわれ きや かまくら かわら なばんぎやめ たう みやこ そろへて かなわしよわれ だにす なさいきよもい たう みやこ きや かまく ら かなわせ あぢおそいぎや およりとて おぼつより かゑら あぢ(あんじ)おそいよ みまぶて きみくや おぼつ より かゑ(へ)ら</p>	<p>三二七 三五六 三一 三六七 七三二 一五二三</p>	<p>「きけくきも人 きも人 す きくとれ」のみか</p>
<p>きかれゝ ききとれ きこやに きちやれ きよもん きより</p>	<p>だりす とよみ きかれゝ くわけもと ふくとり あがおもひが こゑ なりいち ゑて きけく きも人 きも人す きくとれ たりきよらす ききとれ あんじおそいぎや おみこゑの きこやに ごゑくのでだ たるです きちやれ なみ いちへ との みちへ きよもん いみやど 世は まさる てがねまる しま かねて きより しまのよたやれば たにるから きより</p>	<p>一一七七 九九一 六九八 九九二 八三 一一一八 四二〇 四五四</p>	<p>反復句なしか</p>

末尾句	反復句	所出オモロ	備考
<p>おわる おゑ</p> <p>〈力行〉</p> <p>かいなで かがおらに</p> <p>かがおらまし かがちよわれ</p> <p>かきよせれ</p>	<p>大ぬしが おもいぐわ てだのかた もちろちへど おわる 世うどれ くもが おゑ</p> <p>おれなおちへ かいなで うらきらしや おがで かがおらに くになかの しよりもりぐすくかち はやく 御みつか い おがで かゞおらに ともくと おがで かがおらに ひやくさ なてからは こがねすへ つきやり 御まへ かゞおらに あがおなごやてや うちちへ かがおらまし あまへて かがちよわれ 大みねの つかい あまゑて かがちよわれ 月てだのやに てゞ かゞちよわれ つきのかず なつやに あまゑて かがちよわれ うちよせれ かきよせれ</p>	<p>五五六 三九二</p> <p>九九〇 九九五 四〇九 二五三 三八〇</p> <p>一一一 一二四六 一三六九 四五九 四六 一三四三</p>	<p>一節のみのオモロ</p> <p>「あまゑて——」のみか</p>

末尾句	反復句	所出オモロ	備考
<p>おれぼしや おれら おれわ おれわちへ</p>	<p>あめそこの こがねみやに おれぼしや もりぐすく おれぼしや いけくくと そろわば おれら ともくと はやせ おれわ あおりやゑや しまうちゑきや おれわちへ あがるいのこがねあな こがねはなの さきよれば あ おりやゑや おれよ みぎや おれわちへ あんじ(あぢ)おそいよ まぶらてゝ おれわちへ きみがなし けやわちへ 大ぐすく おれわちへ さすかさが 嶋 なふし おれわちへ だくに とよで おれわちへ 世(よ)なおしが おれわちへ 十すへ 八すへぎやめも おぎやかもいよ みまぶてす おれわめ めすかわの まさうず こゑが おわち くめ みぎや おわちへ 世なおしが(ぎや) おわちへ(ゑ) せぢ はやしよわば せぢにす おわめ</p>	<p>一〇九五 六四九〇一四三四 六二二〇一四九五 一八六 一六三 一五九 六二八〇一四五七 三一八 一九四 一八九 六二五〇一四八三 六七九</p>	<p>六二八は二R一 反復部なしか。 五五八・一四一〇は二 R一 二</p>
<p>おれわめ おわち おわちへ(ゑ) おわめ</p>	<p>あめそこの こがねみやに おれぼしや もりぐすく おれぼしや いけくくと そろわば おれら ともくと はやせ おれわ あおりやゑや しまうちゑきや おれわちへ あがるいのこがねあな こがねはなの さきよれば あ おりやゑや おれよ みぎや おれわちへ あんじ(あぢ)おそいよ まぶらてゝ おれわちへ きみがなし けやわちへ 大ぐすく おれわちへ さすかさが 嶋 なふし おれわちへ だくに とよで おれわちへ 世(よ)なおしが おれわちへ 十すへ 八すへぎやめも おぎやかもいよ みまぶてす おれわめ めすかわの まさうず こゑが おわち くめ みぎや おわちへ 世なおしが(ぎや) おわちへ(ゑ) せぢ はやしよわば せぢにす おわめ</p>	<p>三〇一</p>	<p>五五八・一四一〇は二 R一 二</p>

末尾句	反復句	所出オモロ	備考
<p>おそよわ おそわ おまち おもい おもわせ おもわれて お(を)もわれゝ</p>	<p>なみがはな おそよわ しま(嶋) まるく みこゑ(へ)しやり おそわ こがねちやちよく せゑなめて おまち ゑけり やうらぎやことゝ あんす いちやけおもい たらつみちへづきや きむ ひろく もちやり げすに あぢよ おもわせ かなて あんじに おもわれて あさと しなて かなて あぢ(あんじ)に おもわれゝ あんじに おもわれゝ うらおしやの とよみ のちまさり あんじに おもわれゝ こそてはた おぎも だりじよ げすに をもわれゝ ↓かがおらに とよまちへ おるしよわ なよびちへ おれて おれぼしやの あめそこ おれて おれなおさ みしま おれなおせ(ちへ) さしふ おれなおちへ みしま おれなおちへ</p>	<p>八四八 八〇二六 一〇一六 一〇〇〇 一一二一 一一〇〇 一一〇〇 一三二六〇二二五六 一一一七 一〇四二 二六一 一〇五 四八六 一〇九六 三四四 六九五〇一五二七〇 一五三〇 三四四</p>	<p>「あちに おもわれゝ」のみか 反復句なしか</p>

末尾句	反復句	所出オモロ	備考
<p>うらやみよる うらやめ おがま おがむ おこらに おこられゝ おしあいしゆわれ おしかかて おしまわせ おせ おそい おそうやに おそちへ おそやに</p>	<p>かみしものげすの みちへど うらやみよる ともゝその あすび みちへど うらやみよる もゝぢやは みちへど うらやみよる くになつぢ みちへ うらやめ くにのちやら とこいちへ おみかう おがま あける日や おみかうど おがむ よい みやぎせん ね しやり かゑなでかいなで おこらに おゑちへ こうて くもに おこられゝ あやぎやね おしあいしゆ(よ)われ わらい(ひ)きよ さしぶ おしかかて いとおどし なめしいとよ さげて おしまわせ うらくと おせ ゑよ ゑ やれ おせ あぢおそいしよ(す) 天下(天ぎや下) おそい しらなみやが なごり おそうやに あんどおそいしよ てにぎや下 おそちへ しらなみやが なごり おそやに</p>	<p>四九 四四九 一〇七三 一〇二五 四六四 八〇三 九一六 八五七 五六三 一四一五 七一七 二〇六 四八五 五四四 五一四 一五三四 五一八 八七七 (三二) 八〇 三一 五一八 八七七 六八七</p>	<p>「いぢみさうす いぢやちへかみしもの―」か 「ふね たてば くにの―」か</p> <p>三一は「―おそちへ」 五一八・八七七は「―おそい」</p>

末尾句	反復句	所出オモロ	備考
<p>いのられゝ いのれ いへ いやけわめ いれゝ うちあげれ うちとりよわちへ うちやべら うちよせれ</p>	<p>みしま いのられゝ あぢおそいしよ てるかはは いのれ なよせりきよ まきよのかず てはわ いへ たむきせん(の)きみしゆ(よ) もゝと いやけわめ おやぢやう あけて わん いれゝ いせひやし とよで うちあげれ ゑけ よう しまよ うちとりよわちへ すへのちな うるわし こやり うちやべら きみほこり ふう国 うちよせれ つゞみ うたば もゝうら うちよせれ つゞみのあぢなりがなし ふうくに うちよせれ よせうちしゆ しまは うちよせれ 大きみが きみし うちよせれ おやせどべ 御まへ うちよせれ このとうちへの うらこや うらよみちへ きもちや うらこやい まへさうず ありてば ゑけ まさり きく うらやみ</p>	<p>九五(三八) 一〇八 一三六六 一四〇三 一四四〇 一一八〇 四七八 五三二 四〇二 一八一 四五三 八二、一九一 四五五 八八八 九四七 九二六 九五二 六〇二 一四六四</p>	<p>三八は「いのられ」 「いやけわめ」未詳 二R一二 cf「うちよせれ かきよせれ」 「まゑさうす ありちゑ ば」(二四六四)</p>

末尾句	反復句	所出オモロ	備考
<p>へかにある</p> <p>へげにある</p> <p>へさにある</p> <p>いきやかせ</p> <p>いのらめ</p> <p>いのられ</p>	<p>かぐらのけおのうちに ある</p> <p>うらきらしや かに ある</p> <p>かぐらのけおのうち(内)る(ろ) かに ある</p> <p>かぐらのてよ(お)りとみる かに ある</p> <p>きみがけおのうちる(ろ) かに ある</p> <p>きみが金うちる(ろ) かに ある</p> <p>せぢたまぐすく やまとのおにる かに ある</p> <p>せなはおきて なつみづる かに ある</p> <p>わうともいが なんだいむ かに ある</p> <p>わかきよかなしけがおうね とぶとりの はやぶさる</p> <p>かに ある</p> <p>なさいきよもいあんじおそい みきやう あわちへ お</p> <p>もかしやど げに ある</p> <p>みやりぼしや しよりの めづらしや さに ある</p> <p>あまつづは あいつまは いきやかせ</p> <p>ともくとす とひやくさす いのらめ</p> <p>みしま いのられ</p>	<p>一五八</p> <p>一一〇一</p> <p>六八三、六九一、 一三三二、一三三五</p> <p>二一〇三九〇八六三</p> <p>一三八〇一三八一</p> <p>一三二九〇一三八二</p> <p>一一八五</p> <p>八一四</p> <p>七六一</p> <p>九一九</p> <p>三六三</p> <p>五二一</p> <p>一三三四〇二二六四〇〇 一五四一</p> <p>三八四</p> <p>三八〇(九五)</p>	<p>「いきやかせ」語義未詳</p> <p>九五は「—いのられ」</p>

末尾句	反復句	所出オモロ	備考
<p>あてが あまい(へ)</p> <p>あまやかせ</p> <p>あよる あらへ ありよる ありよれ ある</p>	<p>いきやる さうず あてが おみてづり よりこ あまへ かみ すぢや そろて あまへ そるて おやひやし あまへ みつめてだ あくぢよ あまい やよらく あまへ よがほう あまへ あがなさが ゆ はり あまやかせ あくかべよ よ はり あまやかせ きやうのうち あまやかせ しよりきやんうち あまやかせ せのきみ てづて あまやかせ なよくら てづて あまやかせ めづらしや げに あよる あらへが あらへ もくと つも こがね うらおそいど ありよる わかいきよ きみふくり ふくりにせ ありよれ あるなど ある</p>	<p>五七二 一一一〇 一三四九 一二〇〇 一一六五 一一八九 一九三 九一七 七九八、九六一 一〇六二 二五一 六二三 一四八一 一〇九四 九四 一〇〇四 一〇七九 一三九七 一一一一</p>	<p>「ありよる」がもとの形か。</p>

〔動詞の部〕

末尾句	反復句	所出オモロ	備考
<p>〔ア行〕 あいいてるむ あお(ふ)らちへ あがりよわちへ (あ)がりよわちへ あがるやに あけるやに あげれ あすば あすびよわ あすぶ あづけわちへ</p>	<p> 急げ さいわたるのさくら しげくと おりさちへ けおより あいいてるむ やれが 急 やゝのやほう あおらちへ やれ け やゝのやほう あふらちへ ゆかるまいくが のろくた つめて なあがりよわちへ こくらの げす ま人 いてて ながりよわちへ きくやなきたけから やまは ひぢめかちへ あがて て る月しよ あがなさが せひき やひき 急 あがるやに おみかうの おがめばの よが あけるやに このひやし あげれ 世そうせぢ せぢ まさて あすば あまへわちへ あすびよわ いぐまちへ もぢる(ろ)ちへ あすびよわ いみやからだ おれなおちへ あすぶ しまよ あづけわちへ</p>	<p> 五三一 八三八 五五二 四四 四一三 八五〇 三八五 四五七 一〇〇八 一八五 六七三 一〇八六 九〇 一〇九三</p>	<p> 「あいいてるむ」語義未詳。 動詞か。二R一二 八三八と五五二を重複 とするが如何 反復句なしか </p>

年・琉球大学刊)を参照した。その他の参考文献については名前をあげてを割愛する。

本稿は玉城政美・狩俣繁久・島袋幸子・上原孝三・高江洲頼子・中江泰子・濱川真砂氏、琉球大学国語国文学科玉城政美研究室の皆さんとの討議(一九八七年四月)を経て現在の形となったものである。なお、本稿の随所にみられるであろう錯誤は筆者の責任であることをお断り申し上げる。

なお、末筆であるが、右の研究会のために合宿所を快く提供して下さい、"琉球村"社長・上地長栄氏に、記して感謝の意を表したい。

巻の通し番号である。この項については次のような整理をなした。

①重複オモロは、「||」で結んで示した。なお、テキストが重複オモロの指示をしていますが、反復句に異同がある場合は、重複オモロの番号を（ ）で括った。そして、異同を「備考」欄に示した。

例 (イ)六七三||一〇八六

(ロ)一六|| (一三四)

②同一反復句が複数のオモロに出る場合は、オモロ番号の間に「、」をうって連ねた。

例 八一五、八〇四、九〇九、……………

一 「備考」の項には、注意を要する諸点を摘記した。

①参照したい類似反復句。「cf」で示した)

②重複オモロの反復句の異同等。

③一首のオモロが複数の反復句をもつ場合、当該反復句が何種のうちの何番目のものであるかを示した。

例 (イ)六R | 五↓一首のオモロにある六種の反復句のうち、五番目のものであることを示す。

(ロ)一一一は二R | 二↓この反復句が一一一番オモロでは、二種ある反復句のうち二番目のものであることを示す。なお、同一の反復句をもつ一一〇番オモロ(重複オモロ三八八番)では当該反復句が唯一のものである。

④「|」は、整理の際に詞句の記載を省略したことを示す。

⑤その他、注意したい点。

一 テキストは仲原善忠・外間守善編『校本おもろさうし』(一九六五年 角川書店刊)を用いた。テキストにない濁点、語句間の一字分空白の指示等については、外間守善・西郷信綱『おもろさうし』(日本思想大系18)(一九七二年 岩波書店刊)に依拠した。

一 なお、個々の作業にあたっては玉城政美「オモロの歌形」(『琉大法文学部紀要 国文学論集』第二五号 一九八一

(ハ)ちやうわれ↓ ↓ちよわれ

③ 語句の表記上の誤脱は()で括って補った。

例 がりよわちへ↓(あ)がりよわちへ

④ 末尾語句の上接語をへ∨で括って、適宜掲げた。

例 ある↓へかに∨ある へさに∨ある。

一 「反復句」は一首のオモロのなかで対句部に添えられ、反復歌唱される詞句のことを指す。この項については次のような整理をなした。

① 一首のオモロにあるすべての反復句を掲げた。一首の中に複数の反復句がある場合は、当該の反復句が何種ある反復句のうちの何番目のものであるかを「備考」の項に示した。

② 配列は、反復句冒頭語の五十音順に従った。

③ 反復句の表記は、所出番号の若いオモロの形で示し、異表記は()に括った(おどり字「ゝ」、「く」については無視した)。

例 かくらのけおのうちる(ろ) かにある

④ 語句間の一字分空白の指定は原則として外間守善・西郷信綱『おもろさうし』(日本思想大系18)に従ったが、一部、改めたものもある。

⑤ 冒頭に感動詞が来る場合は、原則として、その感動詞を省略した形と感動詞の付いた完全な形の二つを掲げるようにした。この場合、前者の下に「↓」で後者を見るよう指示した。

例 せぢ まさて ちよわれ ↓ゑけ せぢ まさて ちよわれ

⑥ その他、参照してもらいたい末尾句、反復句等も「↓」で示した。

一 「所出オモロ」の項は、当該反復句が何番のオモロに出るものであるかを示す。オモロ番号は『おもろさうし』全

えるものと思っっているが、如何であらう。

ところで、本稿は一つの試案である。筆者のこれまでの考えをもとにしてオモロの一首を分析するとこのようになる、という性質のものである。個々の錯誤はもとより、今後の研究で修正すべき方法論に関する誤謬もまたあるかもしれない。そう思いながらも今回このような形で活字化したのは、本稿が、オモロの対句部と反復部をめぐる議論のたたき台となれば、と考えたからである。本稿を「試案」とした所以である。大方の御批正をお願いしたい。

なお、本稿は次の手続きに従って作成されている。

凡 例

一 本索引はオモロの反復句を末尾語・句から引くよう、作成したものである。

一 本索引は「動詞の部」「形容詞の部」「名詞の部」「感動詞他の部」の四部より成る。これは、反復部の末尾語・句が動詞、形容詞、名詞、感動詞他であるか、あるいはこれらに助詞・助動詞などが付属した語句で構成されていることによる。

一 各部の項目は「末尾句」「反復句」「所出オモロ」「備考」からなる。

一 「末尾句」はオモロの反復句末尾の語句のことである。この項については次のような整理をなした。

①配列は、各部とも五十音順に従った。

②同一語で複数の表記がある場合は、初出例の形を先に出し、その下に（ ）で括って異表記を示した。また、「↓」で見出し語を示したものもある。

例 (イ) あおらちへ・あふらちへ↓あお（ふ）らちへ

(ロ) あぢおそい・あんじおそい↓あぢ（あんじ）おそい

わち、前者のくりかえしは、記載の省略された詞句を復元するための前記詞句の反復なのであり、この中には、歌形論でいう対句部の詞句も反復句Ⅱハヤシも含まれているわけである。(それ故に、対句部と反復部の境界の弁別が難解な問題としてあるわけである)。従来の研究における「反復概念」はこのレベルの異なる二種の反復Ⅱくりかえしを混在させたまま、反復されるものイコール反復句と一律にとらえてきたわけである。しかし、対句部の詞句の記載の省略も広範に存在する以上、オモロの解説に際しては、オモロの本文の復元と、これの対句部と反復部がどのようなになっているかを把握することが先ず第一になさねなければならないだろう。そして、その作業を行うにあたっては、重複オモロ、オモロの表現の類型性、音数律、文法的側面等々、種々の角度から重層的に検証を加え、正確を期す必要がある。このようにして『おもろさうし』をみていくと、オモロの大部分を占める「オモロ形式」「複合形式」のオモロを筆頭に、オモロ本文がこれまでとはかなり異った様相をもったものとして扱えられるはずである」というものであった。

つまり、対句部詞句の記載省略の存在から、オモロ本文の復元、そしてオモロ一首のなかの対句部と反復部の弁別へと問題は展開してきたわけである。ここで、これらの論考と本稿の関わりを一口でいうと、本稿は右で示した考えを一首一首のオモロへ適用したものの、ということになる。その意味でも、前記の拙稿をご参照いただきたい。

さて、このようにして本稿は作成されたのであるが、その利用価値の有無については利用者個々の判断にゆだねるしかない。筆者としては、まず第一に、一首一首のオモロの反復部をとり出し索引化したことによって、オモロ反復句の表現類型の整理・研究への足がかりをつくったものと考えている。このことはとりもなおさず、個々のオモロの対句部と反復部の弁別の問題の解決と直結するはずである。次に、オモロ反復句の内容論のための材料として利用されることを考えている。この観点からの研究はオモロの構文論・モチーフ論的研究とも連動するであろう(反復部の検討は同時に対句部の検討でもあるわけだから、ここにおいてオモロの構文論・モチーフ論の対句部、反復部両者における展開が可能となったと思う)。そして更には、これらの研究の一つのまとめとしての、オモロ反復句の構造と内容に係る、いわばオモロ反復句論が構想されるとき、本稿はその基礎資料となるはずである。今のところ、このくらいの作業には使

オモロ反復句索引〈末尾句引き〉(試案)

はしがき

波照間 永吉

一首のオモロが対句部と反復部の異った二つの要素から成るものであることは、大方の異論のないところであらう。対句部とは、事柄・事件の進展を対語・対句で叙述する部分であり、反復部とは、対句部の詞句に添えて各節でくり返し歌われる、ハヤシに相当する部分である。この二つの部分によってオモロの一節は構成され、その一節ずつの積み重ねⅡ集合体が一首のオモロとなっているのである。

したがって、オモロを読み解いていくうえで一番はじめになさなければならないのは、一節内においてどこからどこまでが対句部であり、どこからどこまでが反復句であるかの弁別、ということになる。

筆者はこの観点から、これまでに「〔研究ノート〕オモロ解読への階梯——対句部における記載の省略について——」(『沖縄文化』六十四号 一九八五年)、「オモロの対句部と反復部をめぐって——オモロの反復を中心に——」(『琉球方言論叢——琉球方言研究クラブ三十周年記念誌——』一九八七年)、「『おもろさうし』の記載法——記載の省略とオモロの本文復元をめぐって——」(『文学』第五十七巻第十一号 一九八九年)等の論考を書いてきた。これらの論考で述べたことを要約すると、「『おもろさうし』の記載法の特徴は反復句の記載の省略にある。このことより従来は、記載の省略されたものは反復される詞句であるから、これらを反復句としてひとからげにしてきた。しかし、対句部にも歌詞の記載の省略はみられる。オモロ本文としては、当然これらも前記詞句によって反復復元されるべきものである。すると、オモロの反復Ⅱくりかえしには、記載法上のくりかえしと歌形論上のくりかえしの二者があることになる。すな